新京日日新聞
夕刊
十月十一日(水)

新大豆出廻期を控ゑ 實業部對策考究
豐作に依る特産暴落に鑑み

滿洲國實業部では稀有の豐作による特産暴落對策につき目下全力を擧げて調査、研究を進めつゝあるが新大豆出廻期を控えその應急策として
一、倉積奬勵と右に伴ふ融資
一、輸出税の低減
一、特産運賃の引下げ
の三大方針の下に具體的研究中であるが、現在全滿農民數は三千萬の八十五パーセントに上り、既耕地は一千六百萬町歩、就中特産の大宗大豆は年産五百萬キロトン、世界産額の六十パーセントを占めて居り、既耕地の灌漑排水の改善のみでなほ五十パーセントの増産可能であり、實業部に於ては右大豆栽培並に消化難解決の恒久策として
一、大豆の食料化並に飼料化
一、燃料化(アルコール醸造)
一、代作(北滿小麥、南滿棉花)
等の計畫を樹立、根本的大豆生産に關する難問題の解決を圖ることゝなつた

生産原價を割る 特産の暴落

特産の大暴落は全滿農民の死活問題として各方面に於て速急對策の確立が叫ばれて居るが十日新京市場の大豆十圓五十錢、高粱三圓四十錢の相場に準據すれば高粱は一天地收入三十一圓三十錢に對し支出四十五圓八十錢で既に生産原價を破り、大豆は收入五十二圓二十五錢に對し支出四十六圓八十錢で漸次生産原價に近づかんとして居る、大豆、高粱栽培の收支を示せば左の如し(實業部調査に依る)

△大豆栽培の場合

收入	
一天地收穫量	四石五斗
一石十圓五十錢(十日新京相場)として	四七・二五
殼一千斤	五・〇〇
計	五二・二五

支出	
種代一斗五升	一・八〇
肥料代	七・〇〇
牛馬耕賃	六・〇〇
人夫賃	八・〇〇
小作料	二〇・〇〇
税、自警費	四・〇〇
計	四六・八〇

△高粱の場合

收入	
一天地の收穫量	七石
一石三圓四〇錢として	二三・八〇
高粱殼一五〇〇把代	七・五〇
計	三一・三〇

支出	
種代	〇・八〇
肥料代	七・〇〇
牛馬代	六・〇〇
人夫賃	八・〇〇
小作料	二〇・〇〇
税其の他	四・〇〇
計	四五・八〇

新京特別市政に就て(完)

新京特別市長　金壁東

未來の豫定計畫に至りては又詳述に勝へざるも些か之が概要を略記すべし、即ち市の收入を決定整理し以て建設の基を樹て市營住宅を建築して市民居住問題を解決し大規模の野菜市場を建て蔬菜の清潔を計り特種傳染病院を創設し以て市民健康の保全を謀り全市上下水道を擴充して市民飲水問題を解決しアスファルト道路を補修して市民行路問題を解決し新式小學校を建設して全市教育の發展を謀り慈善事業を勃興奬勵し以て貧者衰弱の市民を救ひ屠殺場を整理する等誠に施設千種萬樣片言にして盡すべきにあらず、凡そ這般の計畫は均しく最短期間の完成に屬するものにして要するに市民の福祉増進の爲め積極的に規畫し以て本署の使命に背かざらんことを期し建國の精神に副はん事を努めたるは赤日碧空を仰ぎて衷心欣快に堪へざる所なり

思ふに都市は多數人民の集在地にして市政の良否は市民と密接不可離の關係を有す、市政の徹底完全を冀求すれば必ず市民の自治率先によらざるべからず、故に東西先進各國にては其の市政は悉く市民の自治によらざるなし、我國建國に當りて多數市民市政に對する研究乏しく國家時宜に適應するの方策に出づ、故に市政は暫く之を官辦とし專ら市民に市政研究を遂げしめ將來市政は全市民の手に歸せしめんとす、本市は現に自治委員會の組織を開始し以て市民自治訓練の機關と爲し他日時機成熟の時に於て市民自治に歸せしむ、我國王道を以て天下に呼號す、然らば王道とは何ぞや、即ち王道とは德を以て政を爲すの義なり、所謂民の好む所は之を好み惡む所は之を惡む

予不敏なれども常に此義を服膺し市政を努力研究し速かに市民自治の理想を達成せん事を希求する事誠に切なるものあり

上述諸般の事項は本市々政工作の千百分の一に過ぎざれども閱讀諸氏は一によりて十を知り市政の全貌を洞察せらるべし、世界各國明達の士に乏しからず、自ら我國建國以來の施政梗概と進歩の迅速とを諒解する所あるべし、之を舊軍閥時代に比すれば果して如何、然かも徒らに遲疑逡巡して承認を躊躇するも啞然自笑すべきなり、願はくば國人益々努力し國家日に富強に趨かしめ善隣扶持協力の情に ひ進んで各國をして承認の念を堅からしめん事を期すべし爰に於て乎我が邦基永へに固く國運月に隆昌に趨き祝福に勝へざるものあらん

滿洲國觀象台 官制愈よなる
黑河ハイラルにも新設する 當分實業部の監下

滿洲國觀象臺官制は九日の閣議に上程され審議の結果通過を見たので近く參議府會議の『諮詢』を經て遲くも本月中には公布を見る筈であるが、觀象臺は當分の間實業部總長の監督下に置き臺長の下に庶務、豫報、觀測、天文、地震の各科を置く事となつて居る、此の官制中特に日本のそれと異つて居る點は日本では地方觀象臺が府縣に屬して居て中央に管轄されて居ないが、滿洲國では地方觀象臺が中央の管理を受ける事となつて居る點である、尚新京觀象臺は目下敷地について國都建設局と折衝中であるが、本年中に敷地の選定設計を終へ明春早々觀象臺廳舍の工事に着手し正式業務開始は來年十月頃とされて居る、而して地方觀象臺は農業、航空その他の『事業』より國内數ヶ所に設置される事となつて居るが、差當り明年度は黑河、ハイラルの二ヶ所に新設される模樣である

日本銀行團 視察日程

日本銀行團、正金銀行、最上取締役、三菱銀行、瀨下常務取締役、興業銀行、寶來理事第一銀行、明石副頭取、安田銀行、森副頭取、川崎第百銀行、星野頭取、朝鮮銀行、松田理事、住友銀行、大平常務取締役の一行は、滿鐵本社、大淵理事、東京支社經理課長林出參事、外社員一名の案内により十六日來京左の日程により各方面を視察するが、日本一流銀行の滿洲視察は將來の滿洲國經濟界への今後の投資熱を煽ぐ好機なりとして各方面共その歡迎準備を進めてゐるが一行の日程左の如し

十六日午後七時三〇分、新京驛着ヤマトホテル宿泊
十七日午前八時四〇分、軍司令官、參謀長、參謀副長、駐滿海軍部司令官訪問
午前九時二〇分、國務院、總理、顧問、總長訪問
午前一〇時〇〇分、執政府訪問面謁
午前一〇時二〇分、財政部
午前一〇時四〇時、中央銀行
午前一一時〇〇分、實業部
午前一一時二〇分、國都建設局訪問、國都建設狀況聽取
自正午至午後二時、ヤマトホテルに於て商工會議所主催　歡迎の午餐會並に懇談會
自午後二時、二〇至午後三時五〇分、南嶺戰跡城内見學自午後四時、至午後五時三〇分、市内各所、附屬地概要見學
午後六時三〇分、中央銀行主催の晩餐會
十八日、午前八時四〇分ハルビン行

滿洲棉花の前途洋々

〔奉天十日發聯通〕本年度滿洲棉の收穫は當局及び棉花協會の斡旋により豫想外の收穫が豫想せられ、協會調査に依れば、奉天本年度の收穫豫想は作付面積四萬五千町歩に對し實棉九千萬斤操棉二千二百五十萬斤で例年より三、四割方高騰市場相場百斤四、五圓程度であるが滿洲棉花會社に於ても棉花奬勵の立場より右市場相場に於て愈々十日頃より買付を開始する筈である猶當局の斡旋に依り各縣に棉花組合が組織され、既に來年度の計畫さへ對てられて居る現狀で滿洲棉花の前途は益々期待の度を高められて居る

カラハン氏 ペルシヤ政府と 通商、國境等協議

〔東京十日發聯通〕岡本ペルシヤ公使よりの來電に依るとソ聯外交次長カラハン氏は九月二十八日以後テヘランに滯在ペルシヤ政府と通商問題、國境問題を協議し十月五日歸國したが細目の協議はモスクワで行ふ筈であると

ハルビン 邦商の躍進

〔ハルビン十日發國通〕新興大ハルビン市に於る邦人の營業戰線の躍進振りは凄まじい勢ひで止まるところを知らぬ現狀である、今その事變前の狀況と十月一日現在の數字の比較を示せば左の通りである

營業別	事變前	十月一日現在
旅館	九	三三
下宿屋	｜	三三
右女中	四八	七六
飲食店	一五	四四
カフエー	一	三六
右女給	一〇	二六七
料理店	八	二〇
藝妓	三八	一四六
酌婦	五二	一二一
仲居	一〇	五一
料理店女中	一〇	四七
新聞社	三	四
各地新聞支局	四	六
出版通信	六	七
精米業	三	四
銀行	五	五
保險	二	二
電氣工業	八	一三
運工業	六	七
仲介業	七	一三
質屋	一七	一九
兩替店	一七	二〇
劇場	二	三
金屬店	三	四
タクシー	四	一一
運搬業	六	一七
電氣治療	四	六
理髪業	四〇	三八
女髪結	九	一九
醫院	一〇	一九
齒科醫	一	六
藥劑師	一	四
病院	一	二
藥種業	一四	一九
洗濯業	二七	二六
計理士	｜	二
辯護士	｜	八
産婆	四	一〇

珠玉を碎く

吉井勇
(高根秀浩畫)
(百三十九)
最後の舞臺(四)

露子はさう言はれると、何だか言ふことを肯かずにはゐられないやうな氣がして俥を降りた。降りて見るとそこは丁度有樂橋を渡つてすぐのところで、ガアドを越える省線電車の車輪の音がけたゝましく露子の耳に響いた。

「あのう、お待ちしてゐますか……」

伸夫は露子が大貫から降りろといはれて、意氣地なく俥から降りたのを見ると、忌々しさうな顔付で、ひどくぶつきら棒にかういつて訊いた。

「えゝと……さうねえ……」

露子は暫らく考へてゐた後で、

「いゝわ、歸つても……。歸りまでゞもう直きなんだから歩いて行くわ」

「あゝ、さよですか。それぢやあ氣を付けていらつしやいまし」

伸夫はさういひ棄てたまゝ、ぐいと梶棒を持ち上げると、さつさと元來た方へ引き返して行つた。

露子はぢつと俥の後を見送つてから、冷然とした顔付でそこに突つ立つてゐる大貫の方を向いて、

「何處へ行つてゐたの、あなたは……。ちつとも顔を見せなかつたのね」

とかなり親しみを持つた調子で訊いた。と、大貫はちよつと自嘲的に冷たく笑つて、

「はゝゝゝゝ、いよいよ僕もお尋ね者さ。ほんとなら眞つ晝間こんなところを歩いてゐられる體ぢやあないんだよ」

「えゝ、何うして……」

露子は思はずさういつて訊き返さずにはゐられなかつた。

「どうしてつていふ譯は、まあいづれそのうちに判るよ」

大貫はさういひながら並んで歩いてゐる露子の頬ほてに、ちろりとするどい視線を射付けて、

「それであなたに相談があるんだが、どうだらう、あなたは僕と一緒に逃げて呉れない……」

「えゝ、一緒に逃げる……」

さういひながら露子は不圖大貫の方を振向いたが、鋭い思ひ詰めたやうな眼差に出會ふと、思はずぎよつとして瞳を外らした。

「逃げるつて一體何處へ逃げる氣なの」

「落行く先は赤色露西亜さ」

「何うして露西亜へなんぞ逃げるの、怖いぢやありませんか」

「怖い……。冗談いつちやいけない。怖いことたあないよ。ねえ、いゝだらう。一緒に逃げて呉れるだらう」

「厭だわ、露西亜なんて……。何故だか怖いやうな氣がするわ」

露子がさういつて突つ放すやうに返事をすると、大貫はいつもより一層執拗に、

「いゝぢやないか、そんなことをいはないだつて……。ねえ、お願ひだからおれと一緒に逃げてお呉れよ、一人で逃げるのなら何時でも逃げられるんだが、おれにはどうも一人で逃げるのがさびしくつて仕方がないんだ。ねえ、いゝだらう。一緒に逃げて呉れるだらう」

「厭よ。何時でも逃げられるんなら早く一人で逃げたらいゝぢやありませんか」

露子は何だか氣味が惡くなつて來たので、わざと情なくさういつてから、

「あのね、あたしもうお稽古の時間だから失禮するわ」

「さうかい。君はさういふ氣なのかい」

大貫はさういつてから、突然そこに立ちどまつた。

問題の五相會議
第四次で一先づ打切り
次會は大演習後の閣議に
難關を豫想さる

【東京十一日發國通】國防、外交、財政の三位一致的國策樹立のため五相會議は回を重ねること既に三回に亘るも今尚其の根本的基調に對しては軍部、外交、財政當局間に意見の對立を持續し十日の會議席上五相間に相當猛烈な論議が闘はされたが、遂に意見一致するに至らず單に原則論の討議に終始し、次回に持越しとなつたが、次回は大體十六日乃至二十日の兩日に第四次五相會議を開きこれを以て五相會議は一先づ打切り、陸軍特別大演習後の豫算閣議に持越される模樣であるが、大藏當局の軍事豫算査定が意外に遲かつた爲め未だ豫算數字は其の俎上に上程されず、五相會議では結局此の儘具體的問題には觸れずに終るものと觀られてゐるが、財政當局の軍事豫算査定に際し五相會議の結果が如何なる程度に具體化されるかに關し、大演習後の豫算閣議でも尚相當の紛糾は免かれず、豫算編成に直面して非常なる難關が豫想されてゐる

前回よりも意見は接近した
五相會議後陸相語る

【東京十一日發國通】十日の五大臣會議後荒木陸相は語る

會議の内容は話せぬ事になつてゐるが、前回の會議よりも話は接近して居り五大臣の間に意見が對立してゐるなどと云ふ樣な事はない、互に意見を述べてゐる中に段々御互ひの考へる事が判つて來てゐる、此の會議は廣田君が新しく外相に就任したので皆で互ひの意見をつき合せて行かうと云ふのも重なる目的の一つだらう軍部と外務と對立するなどと云ふ樣にお互ひの意見を聽いて、外交としてはこうやつて貰ひたいと云ふのでなくてはならぬと思ふ、斯樣な譯で會議では未だ外交國防、財政などに就いて各大臣が意見を述べてゐるから、大体峠に來た積りでも峠に來て見ると、又向ふに山があると云ふ狀態で、意見はなかなか盡きないのでいつ頃までかゝるか未だ見當がつかない、併し愈々意見が決まれば、會議の結果は或程度まで發表する事になろう

荒木、松井兩中將
大將に昇進と決定
來るべき陸軍大異動で

【東京十日發國通】來るべき陸軍定期大異動に於て荒木陸相、松井臺灣軍司令官は共に大將に昇進する事に決定した

日印民間代表會合で
印度側價格統制をも要望
倉田氏の駁論で沈默

【シムラ十一日發國通】日印民間代表の會合に於て日本の提出せる關稅引下げと割當數量の要求に對し印度側は九日の政府交渉と同樣單に數量の壓迫に依り印度が困つてゐると云ふより寧ろ日本品が餘り安く這入る爲であるから價格の統制もやつて貰ひたいと提議して來た、之に對し倉田代表は價格統制は始めより日本が反對してゐるもので何れの國に價格統制が成功した例があるか、先年米國は綿の統制に失敗しゴムも失敗の歷史がある、しかも日本のみが價格統制をやつても印度や英國が自由では何の效果もないと反對したが之には流石の印度も一言も無くその儘沈默した

双方の見解開きあり
一致點を見ず
シムラ第四次民間交渉

【シムラ十日發國通】第四次民間交渉は十日午前十時半開會、稅率とクオーター數量につき双方の見解は可成り開きあり一致點を見ず、印度側主張は七割五分關稅でも保護の目的を達し居らず日本提議の數量には同意し得ぬとし正午散會した

印棉收穫期を控へ
印度側不買の效果を恐る

【シムラ十日發國通】印棉收穫期日接近に印度政府は不買の效果顯はれるを危虞しつつあり、襄に印度が印棉最低數量買付の名義で不買中止を提議したのは其間の消息をよく物語つたものであるが當業者

公文書僞造事件
近く外務省より嚴重抗議

【東京十日發國通】外務省東郷歐米局長は十日午前十一時半ソ聯大使館參事官ライトリプト氏の來訪を求め、モスクワ政府の發表した菱刈大使の外務省宛文書は事實無根の僞造物と反駁した上、右怪文書は國交上の影響重大だが、どこから入手したかと詳細質問午後一時半に及んだ、東郷局長は會見內容は一切何事も語らぬが、近くモスクワ政府に嚴重抗議を發せんと見られてゐる

【東京十日發國通】ソ聯が滿洲國に於ける日本大使館の北鐵乘取り陰謀計畫なるものを捏造せる事件に關し外務省では十日朝來首腦部の協議を行つたが、差當りモスクワの太田大使をしてソ聯政府の不信行爲に對する抗議を提出せしめると共に次の如き方策を執ることに決定した

一、ソ聯政府が日本の外交文書を捏造せる眞意をあくまで糺明す

一、若しソ聯側で今回執りたる措置が重大なる國際的背任行爲たることを確認しその失策に對し責任ある處置を講ぜざるに於ては我國としても國家の尊嚴と極東平和維持の爲めに斷乎たる對抗手段を講ずべし

溥執政
菱刈司令官招待

溥執政は十一日正午菱刈司令官をヤマトホテルに招待、午餐をともにした

日滿軍の努力で
名物の匪賊大激減
活潑なるもの四萬に過ぎず
―全滿匪賊現況―

豫ねて分散配置の体勢にある關東軍各部隊の不撓不屈の討伐により匪賊跳梁の最も甚しい〝時期〟とされて居る八九月も豫想以上の平穩に終始し、政治的色彩を帶びた匪賊は全く影を沒するに至つたが、滿洲獨特の小匪賊は隨所に於て活動しつつありこれを詳細に觀察すると先づ興安、黒龍江兩省は僅かに通遼、開魯方面及び黒龍江省東北部國境に若干の小匪あるのみで、他は全般的に平穩である、吉林省に於ては東境方面、就中東寧、穆稜、豐滿方面に在る少匪賊が屢々襲來挑戰し來れるものあり、東部線一面坡附近には保朝陽を中心とする匪賊蟠居し折々鐵道事故等がある位である、奉天省、東邊道地區は七月上旬より約三日間に亘る掃匪工作の結果大半の匪團を解消せしめ、昨年同期頃蟠踞線は殆ど不通であつた狀態に比し現在は事故の如きも殆んど無く、平穩に歸してゐる、吉林、奉天兩省境に蟠居して居た毛、宋兩匪團に對しては九月廿三日頃西安に向け南下せんとする機會をとらへて我春見中佐の率ゐる討伐隊がこれを全滅せしめた爲め全くその影を認めなくなつた、東邊道南方山岳地帶に嘗つて〝猖獗〟を極めた鄧鐵梅其他の匪賊は今や全く姿を消し、岫巖の米人宣教師及び九月十三日頃これが救出に向つた鳥佃飛の匪團に對しては目下獨立守備隊が出動追擊中である、熱河省西境方面に在つた匪團は湯玉麟の軍隊と共に消滅し李泉附近に在つた害七峰、老梅山等は九月末頃より行動を起し察哈爾省方面に向け移動し、東南方地區の老耗子は九月始め灤東地區へ移動を終へた、從つて熱河には現在全部で約二萬內外の匪賊があるものと推定されるが、殆んど歸順の意を表して居る、現在全滿に殘存する匪賊の數は大小約十萬、その中大なる集團と目されるのは約六萬と推定され、〝活潑〟な行動を續けてゐるものは約四萬に過ぎない狀態である

〇〇線從事の
露人苦力の行動注目
時節柄重大視さる

【北安鎭十日發國通】北安鎭北方約四十キロ附近に於て〇〇線建設工事に從事中不穩の擧に出でんとし各方面より其成行を重大視されて居る福昌公司使用露人苦力三千七百名は其後漸次ハルビン方面に引揚げつつあり、最早殘留するものは僅少數に過ぎざるに、最近に至り又々ハルビン方面より輸送され來つた露人苦力中に北鐵徽章を使用せる露人苦力の混ずるを見受けられるに至つたが、赤露の對日備行動積極化を傳へられる折柄、等の奧地侵入は何等かの意味を有するものに非ずやと各方面より相當重大視されつつある

〇〇線工事の
滿鐵二站詰所
匪賊に燒打されんとす

【チチハル十日發國通】某所著電に依れば北安鎭より黒河に向け〇〇〇〇工事に從事中の滿鐵建設事務所の二站詰所は匪賊のため周圍の枯草に火を放ち燒打されんとしたが、詰所の警備兵がこれを擊退、詰所の一部を燒いたのみで無事なるを得たと

凱旋兵歡送に
菱刈司令官感謝

今回第六師團凱旋に際して全滿各地殊に大連に於ける歡送ぶりに菱刈司令官は大いに感謝してゐるが、十一日全滿在住邦人に傳へてもらひたいと左の如く語つた

一昨年九月滿洲事變發生この方銃後に在る我國民の熱誠なる後援は皇軍將士をして常に心置きなく第一線に活躍せしめた、從つてこの短時日に成功した滿洲國治安恢復の榮譽は亦軍民一體から結果して居るといふべきものである殊に滿洲に在る同胞の銃後に於ける活躍は涙ぐましいものがあつて眞に軍民一如國難打破に當つたものと謂ふべきである、最近第六師團將兵見送りの爲大連に特派した小磯參謀長の報告に徴しても沿線各地特に大連市民諸氏の熱烈なる歡送の如きは全滿同胞の熱意の發露を物語るものであつて啻に凱旋將兵を感激せしむるのみならず今尚ほ第一線に在る勇士を鼓舞する處が極めて大なるものがある、この機會に於て厚く御同情を感謝し併て非常時未だ解消せざる我日本帝國の爲この眞美境が永續することを御願して已まぬ次第である

濠洲の對日差別關稅設置に
我羊毛界も抗議

【東京十一日發國通】濠洲政府の日本品に對する差別關稅設置は輸出貿易に甚大な影響があるものとして外務省は嚴重抗議を發したが民間側でも濠洲政府の無暴なる措置に對し飽く迄反省を求むる必要ありとして羊毛工業界は濠洲政府の關稅大臣ワイテニー氏に對し遺憾の意を表する旨の電報を發する事となつた

九月中大連港輸入貨物
十萬七千餘キロ

【大連十日發國通】九月中大連港輸入貨物數は合計三百三十隻十萬七千百四十五キロトンにしてこれを昨年同月に比すれば十五隻八萬二千三十五キロトンの增加である主要品輸入數量左の如し（單位キロトン）

品目	數量
セメント	一六、六二四
鑛石	三、七六四
綿糸布	六、九三五
石油	二、二七〇
紙	八、二三二
砂糖	一七、〇五六
棉花	一、三八四
麻袋	二、五九七
鋼鐵及製品	一七、一六六
木材	一一、一一九
麥粉	一三、九九三
計	一〇七、一四五

十月上旬
外國貿易概算

【東京十日發國通】大藏省發表十月上旬十六港外國貿易概算（單位千圓）

項目	金額
輸出	五〇、五二八
輸入	三三、六八六
合計	八四、二一四
出超	一六、八四二
一月以降累計入超	五三、〇七四
重要商品輸出入額	
輸出綿糸	一一、一九七
生糸	一、八八三
綿織物	一〇、〇一九
絹織物	二、六〇一
輸入綿花	六、九二七

未曾有の
我對外貿易

【東京十日發國通】本年度の我對外貿易は未曾有の旺盛振りで昨年度に比較すると左の通りである（單位百萬圓）

	六年度	七年度
輸出	一、一四七	一、四一〇
輸入	一、二三六	一、四三一

尚本年九月までは

輸出	一、三五一
輸入	一、四二一

で年末になれば輸出入三十億內外に達する見込みである

輸入減顯著に
出超可成の數字を示す

【東京十日發國通】十月上旬貿易は一千六百八十四萬二千圓の出超を示し、依然として出超金額に於ては順調な數字を上げてゐるが輸出入金額そのものは從來に比し著しく減少し、特に輸入減が顯著だつた爲に出超金額が可成の數字を示した點が今旬の特徵である、卽ち輸出は生糸、綿製品共に從來に比し減少してゐるが輸入は棉花が前旬に比し殆んど半減の形となり、其結果は輸入總額三千三百六十八萬六千圓といふ今年一月以降最低の記錄を作り、其爲出超額では順調な數字となつて現はれたものである、尚當分輸出は懸念なく出超を續けるものと豫想されるが今月末から愈よ羊毛の輸入期に入り棉花も十一月頃から相當輸入數量を增加し漸次入超に轉換するであらう

張倪元匪に
日支共同し近く討伐敢行と決定

【天津十日發國通】過般灤東地區に於る土匪討伐の名目で同方面に輸送された支那保安隊は實質的に正規軍と異ならざる所より關東軍の爲阻止され、支那側も輸送列車を引返すに至つたが、右保安隊阻止問題を契機として行はれた山海關及び北平での日支代表會議の結果、愈々灤東、昌黎方面に跋扈しつゝある張倪元、所謂東亞同盟軍たる匪賊に對し近く關東軍、支那駐屯軍及び支那側の三者が共同して徹底的大討伐を敢行する事になつた、支那駐屯軍は主として北寧鐵路の保護、關東軍及び支那側は主として討伐に當り、關東軍は特に匪賊の滿洲國邊境への逃亡侵入を防ぐ筈である、尚三角地帶及び討伐敢行期間は未決定だが大体一週間位で終る模樣である

貴院視察團
飛行機で來京

貴族院議員視察團一行は十二日午前十一時頃飛行機で來京することに變更されたが、同日ヤマトホテルで在京官民有志を招待し、同夜十時奉天へ向けて出發の豫定である

佛國各紙
滿洲國不承認の愚を笑ふ

フランス實業界の雄香水王、コテイ氏は、氏が關係するビガーロー紙上に、日支事件に對する聯盟の措置は失敗である、日本人は聰明で正義に强い國民であると稱讚して佛政府や聯盟の失態を指摘したがアミールーブル紙も亦今回の聯盟總會に滿洲國承認問題を提出しないのは失態であるとも聯盟が依然滿洲國を承認しないことを攻擊し、國內に大衝動を與へてゐる、尚そのためコチー氏はビガーロー紙重役の職を取上げられた

海外留學生
派遣廢止
經費節減のため

【東京十日發國通】文部省は我國の文化が非常に發達せること、經費節減問題より今後海外留學生派遣は廢止する方針をとることに決定した

五、一五事件
橘被告の陳述

【東京十日發國通】民間五、一五事件公判は十日午前九時開廷、橘は愛國の至情にかられた我々の行爲を何等悔ひず、その效果は目に見えずとも祖國日本に何物かを與へたと思ふと述べ陳述を終り橘に次ぐ愛鄉塾の指導者たる後藤の審理に入つた

ハイラル初代領事
米內山氏一行
愈よ現地赴任

【ハルビン十日發國通】今回新設された駐ハイラル日本領事館初代領事として赴任の途ハルビンに立寄つた米內山庸夫氏以下館員二十名は、八日午後三時半發國際列車でハイラルに赴任した、米內山領事は同文書院出身で卒業後外務省に入り辭めて鳥居素川氏等と共に大正日々新聞を經營してゐたが、再び外務省に入り濟南杭州の領事を經最近は本省に歸り、文化事業部に居たもので非常な支那通として知られてゐる

銀行團を迎へ
商議で懇談會

十六日來京する內地銀行團一行を聘して新京商工會議所では十七日午前十一時からヤマトホテルにおいて懇談會を開き引續いて午後零時半から午餐會を催すと、出席者は正金最上取締役、三菱銀行瀨下常務取締役、興業銀行賓來理事、第一銀行明石副理事、安田銀行森理事、川崎第百星野頭取、朝鮮銀行松田理事、住友銀行大平常務取締役、滿鐵本社長大淵東京滿鐵支社長理事、林田參事外滿鐵社員一名である

長春滿洲通信
田中直記氏が經營

長春滿洲通信社は今回齋藤曲政吉氏より田中直記氏が委任を受け主幹として經營一切を田中氏の手でなされることゝなり田中氏は十日挨拶のため本社を來訪した

青訓査閱

新京青年訓練所では來る十五日の日曜日午前八時から十一時までの間西公園グラウンドで關東軍司令部の浦山大尉から査閱を受けることゝなつたから所員は遲滯なく出席尚一般は獎勵の意味で多數參觀を希望する

人事往來

▲下關市視察團　十三日午前七時來京、十四日午前八時四十分ハルビンへ
▲刑士廉氏（吉長地區警備司令官）九日午後十一時吉林より來京
▲遠藤柳作氏（滿洲國總務廳長）九日午後三時廿五分哈市より歸京
▲大村卓一氏（關東軍交通監督部々長）九日午後四時廿分發南行
▲吉田中將（撫山燃料廠長）九日午後十時發奉天へ
▲角少將（平壤鑛業部長）九日午後十時發奉天へ
▲田中農林課長（關東廳農林課）十日午前七時大連より來京

團体

▲東京々橋商業學校生四十八名十一日午後九時十五分來京同午後十時發安東へ
▲國際時報主催團二十五名十一日午後四時卅分奉天へ
▲日本國民高等學生三十四名十四日午後一時五十五分來京十五日午前八時四十分發哈市へ十六日午前九時十五分來京同日午後十時發南行へ
▲靜岡滿鮮視察團十二名は十七日午前八時四十分發哈市へ

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	一八片一六分五
同選限	一八片八分三
紐育銀塊	三八仙八分五
孟買銀塊	五六留比一六分九
米英爲替	四弗六九仙八分三
米日爲替	二七弗八七仙
米支爲替	三〇弗五〇仙
スチール株	四七弗四分一
カナゴンダ株	一四弗二分一

▲棉花　●米棉

限月	相場
現物	九仙五五
十二月限	九仙六九
一月限	九仙四一
三月限	九仙四七
五月限	九仙六五
七月限	九仙八〇
九月限	十仙九五

▲上海標金

	本寄	歩値
	八〇三一〇	八〇四〇〇
	八〇〇〇〇	八〇二一〇
	八〇一〇〇	
	八〇三〇〇	

▲大連金鈔票

	現物	十月三十日限
	一二三六〇	
寄付	一二三七五	一二三八〇
歩値	一二三八〇	一二三九五
引値	一二三六〇	一二三七〇
高値	一二三九〇	一二三六五
安値	九〇	九五
出高	五五	八〇

▲上海日本向

	値
第一回	一〇八〇〇
第二回	一〇八三〇〇
第三回	一〇七五〇

▲上海倫敦向

	値
賣値	一志三片一六ノ五
買値	一志三片八分三

▲上海紐育向

	値
賣値	三〇弗〇〇〇
買値	三〇弗一六分一

▲大連上海向

	値
賣値	九六九五〇
買値	九六六五
	九六六〇〇

▲大連[illegible]台向

	値
	九〇四五〇
	九五五五五
	九五五五〇
	九五五七五

▲阪神日米爲替

	値
第一回	三七弗四分三
第二回	三六弗〇〇〇

新京市況

特産現物	相場	出來
大豆	一〇、六〇	三三車
高粱	三、六〇	一車
小豆 先物	[illegible]	[illegible]

錢鈔	相場
鈔票對金票	一二三六五
現大洋對金票	一〇六八四五
過帳對金票	一〇八六〇一
現大洋對鈔票	九四五〇錢

▲カルカッタ麻袋

	値
青麻	三四留比八分七
筋	三三留比八十三
爲替	七九留比〇〇

●大豆

限月	寄	引
袋込	四〇七	四一三
十月限	四〇四	四〇七
十一月限	三八八	三九九
十二月限	三八五	三八七
一月限	三八六	三八七
二月限	三九〇	三九一

●豆粕

限月	寄	引
現物	一二九〇	一二九〇
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	一二九〇	一二九五
一月限	一二九〇	一三〇五
二月限	[illegible]	[illegible]

●豆油

限月	寄	引
現物	一一〇〇	一一〇〇
十月限	一〇九〇	一〇八〇
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]

●高粱

限月	寄	引
現物	一九六	一九六
十月限	一九五	一九四
十一月限	一九五	一九六
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]

各地市場

▲大阪株式

	寄	引
大株新	一一三五〇	一一三一〇
大紡新	一一八〇〇	一一七一〇
同新	一二四七〇	一二四五一〇

▲同短期

	寄	引
同新	一三六四〇	一三六〇〇

▲大連株式

	寄	引
東新	一二七六〇	一二七〇〇
滿鐵新	一三三三〇	一三三四〇
大連新	一九八四〇	一九七〇〇

▲大阪三品

限月	寄	引
鈔	二八一〇	二八三〇
新	一二七九〇	一二七八〇
先	—	—
當	—	—

限月	寄	引
當限	三三三〇	三三〇〇
十一月限	二一九〇	二一五五〇
十二月限	二一〇八〇	二〇八一〇
一月限	一〇六一〇	二一四一
二月限	一〇三一〇	二〇一二一
先限	一〇二一〇	一九九九〇

▲大阪棉花

限月	寄	引
當限	五三三〇	五三三五
先限	五四六五	五三七五

▲大阪米

限月	寄	引
當限	二〇九	二〇一
中限	二三六〇	二二九
先限	二三六	二三七

▲仁川期米

本日休會

▲橫濱生糸

限月	寄	引
現物	七六〇〇	七六〇〇
當限	七四〇〇〇	七四〇〇〇
先限	七三四〇〇	七三四〇〇

▲神戶豆粕

限月	寄	引
十一月限	三一五	三一五
十二月限	三一五	三一五
一月限	三一五	三一五

簡易宿泊所の此頃

憂欝の家に忽ち歡びの秋

土建界最後の活況に入り ルンペン群引張凧

おい/\結氷期も迫つて來たので土建界の最後の活躍期に入つたゝめこの夏以來就職難に喘いでゐた人達にも一陽來復の秋が訪れて來た、いま北の新京簡易宿泊所にその日/\を送つてゐる人達は二十九名だがいづれも輝く希望に燃えてはゐるが、身寄りなく或は知人を頼つて來たが見當らず、また切角見當つても住宅難の折柄とて同居も致しかねるといふのでこゝを選んだもので、この點で東京大阪などの所謂ルンペンとは全然素質を異にし、頼しいものはあるが、切角大望を抱いて來たものゝ思ふやうに職もなくこの春以來困り拔いてゐたところ、漸く最近の土建界最後の

『活動』期に入つて忽ち各方面からの申込み殺到目下引張り凧の態である、給料も何か技術を持つてゐるものの例へば大工左官の如きは日給三圓五十錢から四圓程度で三圓以下といふのは一名もなく、その他は普通二圓五十錢程度、腕に何物もないものでも工事手傳又は苦力監督として一圓三十錢が最低であるが中でも最近最も有氣に入つたのは自動車運轉手で從來毎日尠くも五、六名の者が終日ぶら/\してゐたところ、此の節はたとひ正式に免狀がなくとも甲種の

『資格』さへあれば國道局その他で日給三圓三十錢奥地に入る場合はこのほか手當として一回二、三十圓も支給されるので決して惡くなく、十一日軍部方面から一度に五名の新採用はあつたが、日給は二圓七十錢、食事その他官給で今後二個月間の契約である、何にしろかうした書入れ時に這入つて憂鬱の簡易宿泊所にも今頃は歡喜が漲ぎり、早朝出かけて日中は誰一人ゐず夜間歸つては歡談に花を咲かせてゐるのも羨ましい限りである

各種傳染病 漸次減少

九日中における新京醫院に隔離された傳染病發生患者は總計七十八で、前月に比すると十人の減少となつてゐる、全快四十九人、死亡十二人で、腸チブスは依然發生一日平均二名を下らない、今各種別に示すと左の如くである

	發生	全快	死亡
赤痢	二五	一九	七
腸チブス	三〇	二〇	三
パラチブス	九	九	二
發疹チブス	六	一	
實扶的里亞	二		

やがて—吉敦線は紅葉

寒さが迫つて來て朝毎に見渡す樹々の梢は紅葉せずして散つて行くニレ、ヤナギ、ポプラ、アカシヤ等の多い新京はもう間もなくカラ坊主になつてしまう、吉長線の土們嶺あたりから吉敦線の山々へかけては紅葉する樹木も多く錦繡のやうな美しさを見せるが內地と違つて紅葉もながくつゞかない一霜/\紅の色濃くなつて行くかと思ふと慌しく散つてゆく

全滿徒歩の高橋氏歸る

九死に一生を得て

さきに本紙報導の商業視察の目的で全滿徒歩行脚中の高橋丁一(三四)、浦辻桂太郎(二二)の兩氏は新京出發以來五十八日間を費しハイラル、滿洲里まで徒歩踏査し、途中浦辻氏は不幸足を痛めハイラルに靜養、高橋氏のみ十日新京に歸着したが、日燒した赭顏にあふれるばかりの元氣を漂はしながら語る

新京を出發したのは五月廿三日で途中ハルビン、チチハル、ハイラル等に立寄り滿洲里に到着したのは七月二十日でした國境方面は相當緊張してゐる事は事實でソ領には肉眼でも塹壕と判る堅固なものが構築されて居ります、ハイラルは非常な景氣で滿洲里のさびれるのと反對に一日五家族位づゝ殖へて行きます、此附近に來ますと松の木が澤山繁つてゐて恰も內地へ歸へつた樣でした、興安嶺には白樺があつてなか/\よい景色でした、興安嶺のトンネルをくゞつた時はさすがに氣味が惡く約四十分間かゝる通路を急いで通り拔けました、馬賊にはあまり會ひませんでしたが、忘れもせぬ六月廿九日ジャラントン附近で約二十名からの馬賊に追はれた時は驚きましたが、幸ひ木陰に隱れ難を免れ、九死に一生を得た譯です、蒙古人、滿洲人、ロシヤ人の世話になりましたが皆非常に親切で、殊にロシヤ人は日ソ間の問題等少しも氣にしてゐない樣でした なほ氏は二、三日滯在の上京圖線を北鮮に出で一度新京に引返し熱河に入るとの事である

電信技術競技會

新京鐵道事務所では十四日午前十一時より四平街驛會議室に於て管下各驛電信技術競技會を開催する事となり新京驛よりも多數出席の豫定である なほ競技種目は受信(甲乙)タイプライター受信同正寫組合せ通信、送信(甲乙)

居住消息

▲山口朋氏（福岡縣人、法制局雇員）三笠町三丁目梅津清兵衛氏方へ

▲和田英二氏（元奉天滿蒙デパート毛織部）露月町一丁目二ノ一

▲福代惟男氏梅ケ枝町四ノ三より錦町三丁目錦ビル內へ

▲松本靜三氏（兵庫縣人片倉生命保險會社員）曙町二丁目三十一へ

▲柴田宏氏（青森縣人郵便局事務員）千島町二丁目榮光閣內へ

▲福島坂男氏（佐賀縣人）千島町二丁目へ吉林から

▲長島幸二氏（千葉縣人官吏）日本橋通六十八ノ二より三笠町三丁目五番地石山氏方へ

▲正木照敏氏（東京い凸版印刷會社員）三笠町三丁目三ノ五

▲岡正氏（山口縣人滿洲國官吏）三笠町三丁目五番地石山氏方へ

▲藤井完次氏（新潟縣人會社員）三笠町三丁目五番地三笠屋へ

▲蝶田正賀氏（元富士町三ノ四）三笠町三丁目四へ

▲高橋同之氏（熊本縣人滿鐵社員）露月町三丁目六十八號ノ三

▲石井吉之助氏（佐賀縣人店員）祝町五丁目三番地峯氏方へ

▲井手義男氏（佐賀縣人、日本石油會社員）曙町二丁目十六番地へ

▲渡部市五郎氏（北滿消貸家業）吉野町一丁目二十三より入船町二丁目三番地へ

▲郡志申吉氏（岡山縣人第一生命保險勸誘員）日之出町二丁目一より入船町二丁目二十三番地三ノ九號へ

▲佐々木光之助氏（北海道人保險外交員）住吉町二丁目三十六號より梅ケ枝町二丁目北斗寮へ

▲荻谷五郎氏富士町大使官假官舍より老松町大使官々舍へ

▲岡田廣美氏（岡山縣人、新聞記者）中央通り十九より曙町四ノ六三利ビル內へ

理髮屋の騷動 等級制で納る

猪股衛生主任奔命の努力で 漸く一段落の形

朝刊所報市內大和通理髮業大和軒こと阿比留稔氏の投じた散髮料金値下げの一石は俄然大渡紋をえがき組合員を

『初め』全市民に一大ショックをあたへ、遂に當局が乘出し組合側並に阿比留氏を呼出し猪股衛生主任自から取調をなした結果、双方とも言ひ分があつたため、兩者間において圓滿解決をなすべく言度された兩者とも當局の指示に從ひ、協調を重ねた末等級制度を設けることにほゞ決定したが、更に全組合員に圖るため十一日午後八時から大和通熊本屋で秋季臨時總會を開催することに

『決定』した、等級別料金は一等は現在のまゝで、二等は

一、調髮料　五十錢
一、丸刈料　四十錢
一、顏剃料　廿五錢
一、小供調髮料　二十錢
一、男女シングル　三十錢
一、婦人洗髮　四十錢
一、白赤毛染　男　八十錢　女　一圓三十錢

である

臨時總會で等級制を採用する 理髮組合長語る

右に就き土居組合長は語る 阿比留氏の行爲に對し直に役員會を開催した阿比留氏が組合員脱退の書面を十一日朝私の方に郵便で配達して來ました、その時は土曜日のことで非常に多忙で役員にはかることも出來なかつた處突如十八日から値下げを斷行した、この廣告を見て實は組合長の責任上新京署に右の旨を報告しました、阿比留氏のいはれる樣に組合には別に不統一なこともない、同氏は九月五、六日、ごろと思ひますがその時も脱退方を申出たこともあるが兎に角く値下問題に關しては十一日臨時總會を開催しその結果において等級別を定める豫定です

組合長が悪い 松本理髮店談

松本理髮店では次の樣な意見を述べてゐる 責任者ともある組合長が職人を買收したことが大和軒をおこらせた原因でせう、組合としても今まで缺陷があつたからこれを楔機に改める必要があります、それには等級制にする樣な方法もありませう、自分としては値下する意向はありません

蒙古十青年 日本へ留學

全蒙古青年中より選ばれて善隣日本に留學する桑傑札布君外九名及び一行と行を共にする興安總署詩政務處長令息壽澤民君は、總署小島總務科長引率の下に今朝九時發ハトにて新京を出發、朝鮮經由文化の都東京へ向つた、一行は約三年の間各自の希望する學科に就き研究する筈であるが、出發に當つて彼等は口々に蒙古文化啓發の良き指導者たり得る樣我々の出來る限りを盡して勉強する覺悟で居りますと其の決心の程を語つてゐた

語學本試驗 日割

滿洲語學試驗豫備試驗は既に發表されたが、なほこれが本試驗は左の割で行はれる

△支那語四等十五、十六兩日 △同三等十七、八兩日および二十日午前 △同二等 二十日午後と二十一日 △同一等 二十二日および二十三日午前 △同特等 二十三日午後 會場は新京實業補習學校である

憲友會十五日總會

新京憲友會總會は來る十五日新京射擊場で開催することになつた

上下水工事十五日締切り

至急申込みませう

今年もいよ/\結氷期が近づいたので新京地方事務所水道係では上下水道工事の進捗を急ぐこととなつたが本年度の工事申込受付はいよ/\來る十五日を以て締切ることになつた、即ち上下水工事の施設希望者はこの際至急申込まなければ、本年度內には間に合はず、結局來年の解氷期を待つよりほかないわけで當局でもこれが工事の段取上、この際一刻も早く同水道係へあて申込まれたいと希望してゐる

常磐津溫習會の

收支計算書提出を命ぜらる 溫習會は今夜から

常磐津師匠正菊門下の藝妓連中が十一、二兩日長春座で溫習會開演の運となつた矢先き常磐津會並に師匠連の不法に對し俄然向下の脱退その他問題を惹起するにいたり常磐津會では狼狽し種々の方法を講じやつと溫習會のみは開演することになつたが、當局でも今回の溫習者の處置に對し溫習會後收支計算を當局に提出さすことになつた

藝妓溫習會 いよ/\今夜

常磐津正菊師門下藝妓溫習會は長唄及清元連中の應援の下に左の日取藝題で十一日から開演

初日（十一日）

一、小寶三番叟
二、墨塗り
三、道成寺
四、夜討曾我
五、文屋康秀
六、後の月酒宴島臺
七、岸連奇常磐松島

二日目（十二日）

一、小寶三番叟
二、おかる光狂亂
三、花舞臺霞猿曳
四、後の月酒宴島臺
五、墨塗り
六、越後獅子
七、お夏清十郎
八、岸連奇常磐松島

金儲けが目的 苦々しい限り

市中からの非難

常磐津正菊師匠門下藝妓連の秋季大溫習會は長唄清元連中の應援出演もあり今十一日夜から華々しく長春座で開演の筈であつたが千鳥の常磐津連が脱退したので一抹の淋しさを加へた、その原因に就て本社の聞き得たところは別項の如くである尙普通興行師のやる常套手段を眞似てプログラムにいろ/\な營業廣告を載せたのは如何にも金儲け主義であるかゞ如實に示され市中一般から攻擊されてゐる、右に就て或人は語る

ずいぶん田舎臭い眞似をするものですね、國都新京花柳界の估券にも拘るね勿論費用は要るが、それだつてたいしたものじやない、殊にそれは出演者の方で自辨でやるのだから劇場の借賃や入場券プログラムの印刷代ぐらひなものだ、他に宣傳費用なんかかけてゐないやうだね、だとすれば苟も新京の花と謳はれる藝妓連と粹で高尙なものを揃へたがよかつたのだ、昔は兎も角、今は立派な石版印刷も出來るのだ、ちよつと攜けて見ても美しく如何にも溫習會らしいプログラを配つたらそれだけでも印象に殘るといふものだ、今度のプログラムは廣告が主か演藝會が主がわからない、あれぢや金儲け主義だと非難を受ける譯だもしも料理店組合の書記が驅け廻つて集めたと云ふのならまだ恕すべき點もあるが出演する、藝妓連中が廣告を貰つて歩いたと聞いては呆れてしまう藝妓諸君もなぜ刎ねつけなかつたか、如何に弱い女性中でもまた一段と弱い稼業に從事する身分だからと云つてそんなことまでして自ら銷を落すやうなことをするには當るまいと云々と嘲笑して居た

運轉手試驗 合格者

新京署で施行した關東廳自動車運轉手試驗に合格したものは左の三十五名でそれ/\免許證を交附した

內地人 荒木幸一、鍋出富吉、久保田富士男、宇都宮文雄、齋藤三郎、中村己吉、森健吾、淺井彌兵衛、松澤治三郎、藤原捨熊、齋藤正一郎、前田直吉、丸田末作、窪田明、興常義、淺井喜好、宮下清一、村越彌三、高島聰藏、野本保、山口林作、前島六次郎、齋藤敏、伊藤茲年、山口初次郎、馬場修一、長谷川三郎

朝鮮人 歸相萬、吳基仁、金永泰、尹錫雨、李昌和、李達雨

外國人 アナニーデニシエウキチ、サブランスキー

柳さく子一行の料金が高過ぎる

保安係から大目玉 おまけに電柱にビラを貼り

舞踊家柳さく子一行は十三、四、五日三日間新京長春座で華々しく開演することになり入場料金特等一圓二十錢の許可願を十一日新京署に屆出たが同料金は奉天より特等三十錢、一等二十錢高くその理由を訊した處、一行出演者は柳さく子外三名ではやし方その他は奉天から藝者を雇入れたゝめその費用を見積つたものとて遂に許可されず結局奉天と同料金で開演することになつた、なほ同一行の宣傳ビラを市內の電柱に貼布してゐるため嚴重說諭の末取のけることになつた

六十七圓を落す

市內東一條通十八番地化粧品店々員朴就文(一八)は十一日午前八時ごろ現金六十七圓を主人から朝鮮銀行へ預金すべく命ぜられ朝鮮銀行に赴いたが銀行が事務を開始してゐないため現金を懷にして秋町から東二條を通り歸宅する間遺失してゐるを知り新京署に屆出た

帝展二部洋畫 入選發表

〔東京十一日發國通〕帝展二部洋畫入選は十日午後八時發表された 搬入は三六九四點昨年より五〇二點減少、入選總數二三七點、再入選一五八點、新入選七六點、無鑑査を入れ總數三百點である

新渡戸博士 再び重態に陷る

〔ビクトリア九日發國通〕當地において病氣靜養中であつた新渡戸博士は本日再び重態に陷つた

木曾福島の 京大理學部 生物研究所

〔京都十日發國通〕京大理學部で鉛流、森林、高山及び動植物研究のため木曾福島に設けた京大理學部生物研究所は來る十六日午後三時開所式を舉行することになつた、記研究所は日本唯一のもので世界において僅かに米國のニューヨーク州に一ヶ所あるのみである

早大大勝 早帝リーグ

15A—5

〔東京十日發國通〕十日の早帝戰は左のスコアで早大大勝した

△スコアー

早大	3	0	0	4	6	0	2	0	A	15A
帝大	0	0	0	2	0	3	0	0	0	5

△バツテリー
早大—松木、三浦
帝大—梶原、藤田

日本オープンゴルフ 中村君第一位

〔東京九日發國通〕日本オープンゴルフ選手權大會は中村君第一位、モンチス第二位となつた

街の日記

日蓮宗經王寺のお會式

十二日は日蓮聖人が六十一年の迫害多難なりし生涯を終へて秋深き武州多摩川畔池上の里に靜かに寂を示してから六百五十一年目に相當するので曙町經王寺にては同日午後六時半より法要を行ひ、法樂加持、法話の後餘興として筑前琵琶〈龍の口〉中谷富湖女史、同〈組岩〉岡沼秋水女史の彈奏がある

生花講習會 あす十時から

滿洲產花卉利用生花講習會は新京地方事務所主催の下に既報の通り十二日午前十時より家事講習所で開催講師は帝國華通院顧問池ノ坊繼華督根本如空氏、會費不要である

高女の兵士慰問

新京高女では十一日午後二時から來京〇兵の慰問演藝會を同校講堂で開催した

高女のバスケット大會

新京高女では十日午後一時からバレーボール大會を開催したが十二日にはバスケットボールの大會を催す由

自轉車とリヤカー衝突

十一日午前八時四十分頃日本橋通り、曙町四丁目交叉點で中央通り電報局電報配達夫が自轉車で日本橋方面へ走つてゐたら突然曙町からリヤカーを押して日本橋通りを橫斷せんとして現はれた二道街南十五番地西尾洋行店員姜萬(一五)が不注意で側面衝突をなし自轉車後輪を小破した

圖案の店 鳳三堂移轉

新京日之出町二ノ十四にある鳳三堂圖案社は開店以來、日淺きにもかゝはらず、その近代的圖案技術をはやくも認められそれがため店舗擴張の必要にせまられ、梅ケ枝町三ノ二八に移轉した

近く完成 驛前の安全道

新京驛前の雜沓を緩和するためかねて工事中であつた安全道はジヤパンツーリストビユーロー側が殆ど竣工したので新京手荷物取扱所前の尾根增築工事はいよ/\十一日から着工した、完成は早くて本月末日までかゝる豫定である、なほ四九日後からは手小荷物の引渡しを三等待合東溜で行ふはず

黃州リンゴの大安賣り

祝町二丁目十七番地の鐵扉では二、三日前から朝鮮黃州リンゴの卸、小賣を開始したがリンゴの相場その他につき主人は次の樣に語つた

今年のリンゴは到る處の不作で三割方價格が暴騰してゐます、關稅改正で從來四貫入一箱につき一圓二、三十錢の稅金であつたのが六十錢位に低下したけれど、朝鮮中部以南では殆ど皆無で內地も不作したので結局高くつきます、朝鮮の黃州リンゴだけは良好でした、黃州リンゴ百五十萬箱全部を私のところで引き受けてやることにしました、他では百匁二十錢位のところ私の店では十七錢位で小賣してゐます、種類としては紅玉、國光、大和錦等があります

料亭待月 城內第一を目標

城內西五馬路、粹人憧れの的たる待月はこの程室內の改造を加ふると共に從來居るところの五名に、さらに內地方面より腕利の新妓十數名を加へいよ/\その陣容をとゝのへ西五馬路第一の料亭たらんとりきんで居る

雜誌巡讀會生る

雜誌種類の豐富と配本正確迅速、消毒完備した我等の巡讀會が羽衣町一丁目西角に產聲をあげた泉巡讀會支部がそれである、娛樂雜誌、婦人雜誌文學、演藝雜誌、政治、經濟少年幼女其の他各種の新雜誌を一ヶ月一圓で十冊以下の好きな本を讀める極く手輕な便書店である

おでん屋 美乃屋開業 とてもおいしい

市內祝町太子堂裏にこざつぱりした關東煮美乃屋が愈よ九日から開店した、同店主人黑田留吉氏は關東煮、おでんの味はよく味ふ人であるが當人が關東煮、並におでんをこしらへることは、全くの無經驗だが妻君は、かつて東京時代からの經驗者であるから出來るかぎり純東京式の品をこしらへると誇つてゐる、特はゴボ、筏揚は妻女の御自慢の品である、同店は二階建で階下に一歩を踏入れば至極やはらかい感じがしてゐる、又階上には六疊二間があつて婦人子供を連れて行くにも便利である

貸間あり

東三條通滿鐵病院橫三十八番地都山流尺八指南西田方山氏方で賄付貸間がある

あすおひる 傷病兵が歸ります

十二日午前十一時半新京驛發列車で新京から傷病兵十七名が凱旋の途に上ります、皆さん多數驛頭までお出て彼等勇士をはなぐ/\しくお見送りしませう、一行は公主嶺、鐵嶺、奉天、遼陽の各地傷病兵六十三名と合して十三日午前大連着、內地へ凱旋する

慶安異聞

艶魔地獄

（禁上演映畫化）

玉水三郎

（畫）長谷川小信

（六十二）

侠客の剛情（十二）

「ヤイ、汝は何者だ」
破れ鐘のやうな大音で、唐犬權兵衛が叱りつけた。
相川忠太夫、短刀を振翳しながら、是亦大音に、
「何者もないものだ。其方は旗本邸へ闖入致して、それなる女を奪ひし曲者。吾れは青山主膳の公用人相川忠太夫と申す者だ」
「ナニ汝が忠太夫か……オイ此奴は大事な證人だ。殺さねえやうに生捕りにして吳んな」
七八人の兒分は何れも長脇差を引抜いて向つた。が殺さぬやうといふ注文だから、
「野郎ヂタバタするな」
「叩き伏して了へ」
權兵衛は嘲笑つて、
「ヤイ忠太夫、汝は乃公が女を奪つたといふが、乃公の横取した女を、吉原の土手で奪つたのは誰だ、手前の主人ぢやねえか、奪つた者を奪はれるに不思議はあるめえ」
忠太夫一言もない。其間に兒分達は、竹竿のやうな物を何處からか持出し、忠太夫の向ふ脛を拂つた。
「アヽーッ」
前へ平太張る所を、兒分達を以てグル／＼卷にした所へ、四五人の若侍が駈つけて、
「ソレッ引捕れ」
「ソレッ、御用人を救へ、相川氏を……」
唐犬はそれと見るや、
「外の奴には用はねえ。斬り拂つて了へッ」
「合點だッ」
さア面白くなつたと喧嘩好きの七八人、今度は斬つても可いといふ許しだから、拔身を振翳して、四五人に立向つた。
其上黒裝束覆面で、立派な武士が加勢と見えて突つ立つてゐる。乙は無論久米の平内。
數より腕骨のない侘しい家來達だから、
「コリヤ耐まらぬ」と逃げ出す。
「一人も殘すな、叩つ斬つて了へッ」
何れも追はんとするを、唐犬は制して、
「イヽヤ逃げる者なら追ふな。大淀を助けた上、證人を生捕にしたらもう大勝利だ、引揚げろ」
勝鬨上げて一同は、淺草新鳥越の唐犬方へ引上げた。
留守居の兒分達も、皆大喜びで出迎へる。
「吉原の土手の仕返しは、親分一人でやつて下すつた」
「こんな目出てえ事はねえ」
「花魁もお怪我はありやせんでしたかい。定めし吃驚なすつたらう」
權兵衛の女房お光も、お久重をいたはつて休息させる。
「親分、此の親爺は何うしやせうね」
「オヽ用人か、其奴は逃がさねえやうに、庭の松の木に繋いで置け少し用があるから……」
「ヤイ忠太夫此方へ失せろ、太へ野郎だ」
忠太夫泣き出したくなつた。多くの荒くれ男がゐるので、初めて唐犬權兵衛の返報と知つて、青くなつて松の木に縛り附けられてゐる。
一方青山主膳は、此大敗北を聞いて、益々憤慨し、
「憎むべきは唐犬權兵衛。予が邸へ忍び入るとは……」
怒つては見るものゝ、自分が盗み浪人を使つて、大淀を横取りした弱身がある故、人にも言はれず唯自分の邸內だけで、
「此返報は何としても吳れん。先づ生捕となつたる忠太夫を救ふ手段、之が第一である」
例の無頼漢同様の、浪人連中を集めて相談をする。
對手は唐犬といふ侠客、一ッ家へ向ふのは如何に暴力團でも、一寸考へもので、直ぐといふ譯には行かなかつた。

十月十二日　舊八月廿三日　木曜　辛亥　赤口　除　井宿

●一白の人　人を侮り已を誇りて排斥せらるゝことあり　庚さ辛さ丑が吉
●二黒の人　無理も通り利得さへ加はるべき日奮鬪に吉　乙さ壬さ癸が吉
●三碧の人　智慮を廻らし腕を振ひて大に發展を來す日　丙さ庚さ寅が吉
●四綠の人　才德衆に認められ用ゐらるゝ所大なるべし　庚さ癸さ寅が吉
●五黄の人　運氣良好に志望遂行す但し投機に耽れば凶　卯さ丙さ亥が吉
●六白の人　拔け目無く立廻らざれば意外の渉に敗あり　丙さ丁さ未が吉
●七赤の人　幸福を望まば德を積み仁を施す心懸が肝要　乙さ未さ亥が吉
●八白の人　計畫追々さ順調に運ぶ日普請造作商談不利　甲さ丙さ壬が吉
●九紫の人　燃え立つ心を打消して萬事差控ゆるが安全　已さ庚さ寅が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行
×三等船客設備船
（午前十時大連出帆）

船名	出帆日
はるぴん丸	十月十二日
×たこま丸	十月十三日
香港丸	十月十五日
うすりい丸	十月十六日
ばいかる丸	十月十八日
×しあとる丸	十月十九日
亞米利加丸	十月二十日
うらる丸	十月廿一日

●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ヂヤパンツーリストビユーロー案內所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引）通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社
大連支店　電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話三三一六番

新京日日新聞

ソ聯の怪文書發表事件は
我輿論分裂を企圖せる宣傳
治安を紊し國内法に抵觸
タスを斷乎處分か

【東京十一日發國通】ソ聯政府がモスクワに於て、更に東京では國營通信たるタス通信によつて夫々公表された日本官吏の

『使嗾』による北鐵占領計畫なる怪文書に對して外務省は事實無根の捏造なる事にいたく憤慨、兩國々交の前途に暗影を投ずるものとし取敢ず十日廣田外相より駐露太田大使宛に嚴重抗議する樣訓電を發したがモスクワより更に詳細なる報告の到着を待つと共に十一日東京駐在タス通信特派員に對し右文書を發表するに至つた動機、經過等に就き糺明諸般の事情を綿密に調査する事となつた、然して外務省は單に事情聽取に止り「この問題は日本を中傷し輿論の分裂を策した宣傳で明かに治安を紊すものにして純然たる國內法に抵觸する性質のものである」と看做し內務省と種々協議を行ひ然る後タス通信の營業停止、記者の國外追放其他何等かの斷乎たる手段を講ずることとなつた、斯くして怪文書事件の

『成行』は一兩日中に決定を觀るべく極めて注目されて居る

北鐵交渉と手入問題は別個
滿洲側は純商取引と見做し依然交渉繼續の意志

【東京十一日發國通】東京における北鐵交渉に就てソ聯側は北鐵手入れ問題と關聯してゐると言ふが滿洲國は事態の急變無き限り全く別個のものであるとの見解より純然たる商取引として交渉を繼續せんとしてゐる

五相會議に前途の見透しつく
首相と藏相が軍部豫算說得

【東京十一日發國通】五相會議は何等決論に到達せず齋藤首相、堀切翰長は

『會議』の前途は見透しがついたと樂觀して居り左の方針に出るものと見られる、即ち國防第一主義乃至は國際協調主義の如きは國際狀勢の變遷と相俟ち俄かに決定出來ぬ問題で五相會議開催の結果外交、國防に關し輪廓明瞭となり今後豫算編成に有益だつた、從つて結論到達如何に關せず來週中に二回會合會議を開催し改めて豫算閣議に臨む豫定で一方五相會議は豫算閣議の關係で一時中止の意向と觀られる、豫算閣議では軍部豫算で一波瀾を免れず、五相會議の結論に依り軍部豫算の編成を容易にせんとした計畫は失敗せるも此の點は財政の許す範圍に軍部の要望を充すと

『共に』齋藤首相、高橋藏相が軍部說得の態度に出やう

三井物產の莫大な配當金

【東京十一日發國通】三井物產では東洋レイヨン株新株卅萬株を一株三十圓のプレミアム付きで賣出しの結果總計九百九十萬圓の利益を得たので今期業績は貿易好調で三千萬圓の現金を有し、東洋レイヨン株賣却金を要しない狀態である、一方三井合名は對滿洲國一千萬圓の貸付けを始め資金化の急を要するものと見て昨日午後三井物產は重役會議開催の結果、從來の一割配當の他に東洋レイヨン株賣却金を特別配當金とすることに決定しこれが三井合名の懐に這入る事となつたが、此資金を何處に投資するか注目されてゐる

政府の產金買上値段
近く九圓以上に引上か

【東京十一日發國通】再禁止中產金相場昂騰の爲め政府の產金買上値段は八圓八十八錢から大幅の開きがあるので、政府の買上値段の改訂を要望する向が多いが、大藏省の買上値段を近く變更し、市場の投機利用を避ける事の必要を認め一匁九圓以上に引上げるとみらる

十六日の孔子聖誕日
記念放送を行ふ

孔子の道は內聖外王、政治を倫紀するにあり、社會上極めて重要且つ密接な關係を有ち一言にしてこれを蔽へば

『大學』の所謂修身齊家治國平天下の學說これなり、此種の學說は王道主義の精髓にして我滿洲國は王道主義を實行し建國宣言に於て首先して尊孔の旨を宣示し人民をして相共に大同の道に進ましめるの至意を明かにし以て學校讀經を恢復し祭孔を改正して跪拜の禮を用ひ、各所の文廟を改修せしめ舞樂を訓練し新に舞樂器を整備せしめ春秋丁祭及孔子聖誕には特にこれを公休として賀意を表せしめることを規定せり、昨秋丁及今春丁に國務總理が新京文廟に於て祀孔の禮節を舉行せむが如き已にそれを知るに足るものと言ふべきなるも、本年秋丁に際し、執政親臨して釋奠され一切の儀禮は文敎部に於てこれを承辦し典禮に數十年來未だその例を見ざる盛儀を極めたり本月十六日は孔子聖誕日を迎へるに當り文敎部禮敎司に於ては已に宗敎科員桑亦農氏をして前二日（十四日）午後七時三十分より新京放送局より

『全國』に向け「孔子聖誕感想」を放送し以て聖孔を宣揚し一般民衆に孔子尊崇の念を感知せしめることゝなれるがこれ實に王道主義宣揚の嚆矢と言ふべし

日印民間代表意見背馳
續開の見込立たず
但し政府代表は會商續行せん

【シムラ十日發國通】日本綿製品に對する關稅率並に輸出割當量に就き日印兩國代表の意見對立の結果第四回日印民間協議會は

『遂に』物別れとなり次回會議の開會見込立たぬ有樣となつたが、日本代表部としては具體案をたたきつけて主張を闡明し更に印度代表の懇請に依り關稅率は四割二分見當で我慢しても良いと云ふ最後の切札迄出したのだから之以上新提案を持出す理由も必要も無く、進んで民間協議會の打開を圖る意圖は全然持つて居ない、印度代表は十一日迄に具體案を提出する樣要請されて居り、十日夜政府代表と會議して右具體案を提出する事になつて居るが、右會見の結果印度政廳の意を受けて更に新對案を練り會議の續行を申込むことになるかも知れない、尤も民間協議會が行詰り狀態となつても政府代表間の會商は豫定通り十一日午後三時から續開されるものと觀られるが民間協議會の停頓がシムラ會商の全般に暗影を與へるに至つたのは動かし難い

『事實』であるが政府代表間の會商だけは依然續行することになるかも知れない

英米戰債改訂
依然妥協點發見困難

【ワシントン十日發國通】去る五日米國務省で開始された英米戰債改訂交渉は其後中止の狀態であつたが、愈々十日から雙方の間に實質的討議が開始された 英國側は本日の會商で種々內外の狀勢の變化を說明し、現行戰債協定に依り今後五十一ケ年間に亘つて尨大なる九十億弗以上の元金並に利子を年賦償還する事の不可能なる所以を屢々說明し、極力米國側がその思切つた削減に同意すべき事を要望した、その英米戰債交渉の背後に英國內に漲る戰債支拂ひ反對の一般感情と戰債の全額徵收を固執する米國議會側の主張が對立してゐる形で米國政府は此二つの相反する主張の間に挾みとなり頗る困難な立場に立ち外務次官アチスン氏が極力兩方の妥協案發見に努めてゐるが前途は尚ほ頗る多難である

軍縮問題は列國と協調
―英議會で決定―

【ロンドン九日發國通】英國は軍縮問題につき、列國と協調することに議會で決定した

第四次日印民間協議會
決裂狀態のまゝ散會

【シムラ十日發通】第七次日印會商は十一日午後三時開會の豫定であつたが、印度側の都合で一日延期され十二日開會する事となつた、雜貨問題に關する會議停頓の情勢に鑑み、局面を打開せんとして印度政府が當業者の意見を聽取し、次の會議の方針決定に資せんとするものの如く觀られてゐる

印度側焦る
四圍の情勢に

【シムラ十日發國通】印棉不買の打擊は日と共に深刻化し一方日印會議が二十日前後にニューデリーへ移るため一週間位は休會せねばならず更に印度の臨時議會も來月十五日に迫つてゐるので印度政廳は一日も早く日本との交渉を終らねばならぬ事情に迫られてゐる、加ふるにランカシア代表は來る二十八日には歸英の途に就くのでニューデリーでは日本側と會商を行ふ餘裕がなく印度政廳側はランカシア代表がシムラに居る間に何とか目鼻だけでも付けて置き度い立場にあり、從つて民間協議會が決裂し綿製品問題が全面的に政府交渉に移つた此際を絕好の機會とし印度政廳は一氣呵成に交渉を纏めるべく急速に印度案を提出して日本代表との討議を進めるかも知れぬと觀られるに至つた

輸入米許可制に依り
シャム米の輸入が遮斷される

【東京十一日發國通】未曾有の米洪水に對し、農林省では各種應急施設を講ずる外

『更に』取つて置きの一策として輸入外米の全面的許可制を斷行するに決し、右の勅令は來る廿日より施行される事になつた、農林省が此の擧に出たのは九月廿日現在調査の新米收穫豫想が案外多く、明年度端境期の理想持越を控除した過剩米實に一千萬石に達する見込で、米の需給關係は全く破れ、米穀統制法其他應急對策を以てしては、尙甚だ不安なる狀勢に立至つたためである、而して現に輸入されてゐる外米は主としてシャム米で、昭和七年に於ける輸入數量は八十二萬四千石、總輸入米の七割六分八厘強に當り、殊に他の諸國の輸入に就ては既に米穀法施行令によつて許可制が實施されてゐるので、前記新勅令は結果に於てシャム米の輸入遮斷する事になる尙一カシャム米の輸入遮斷が內地米界に及ぼす影響を見ると數量では精々百萬石足らずで、內地の管外移出米千三百萬石、朝鮮及び臺灣米移入計六百五十萬石總計二千萬石に上る現狀にあり、僅かに五分に過ぎぬが豫想される過剩米一千萬石に對しては

『一割』に當るので過剩米對策としては寧ろ人氣的に米價に好影響を與へる效果が大であると解せられる

第七次日印會商
印度側の都合で一日延期

【シムラ十日發國通】第四次民間日印協議會は十日午前十時半より開會され、日本綿製品に對する輸入禁止的高率關稅の引下げ並びに日本綿製品の割當量に關する日本代表部の具體案に就き討議を進めてゐたが、審議一時間半に亘つて遂に意見の一致を見ず、尙且つ第五次會議の日取りも決定せずに決裂狀態のまゝ正午散會した

滿洲雜工業の現狀と今後の方針

當局に於ては滿洲國內に於ける各種產業生產事業の統制については種々考究が重ねられてゐるが先づ國內に於ける雜工業の中セメント、日本酒、綿糸、綿布、マッチの生產その他の現狀並に今後の方針は大體左の如くである

△セメント　滿洲に於けるセメント企業は既に廿餘年前から始められて居り大連市外周水子に在る小野田セメント會社がこれであるが逐年セメントの需要額の增加に伴ひ同工場は徐々に規模を擴大し來つた、然るに一昨年九月滿洲事變勃發して滿洲國の建國となるやセメントの需要は頓に增加の傾向を示し從來大體十三、四萬噸程度に止つてゐた國內の年需要額は昨年に至り廿萬噸となり本年は既に卅萬噸に達してゐるが近き將來に於ては實に五十萬噸に增加するものと觀られて居る然しながらセメントはその性質上運賃その他の關係から內地よりの輸入は困難で、是非共需要地に於て生產されねばならぬ幸ひ滿洲にはセメントの原料たる粘土、石灰石等が豐富である爲現在新たに四工場の設立を計畫し、既に當局との諒解を經て準備中である、即ち鞍山に於る鐵、セメント撫順に於る粉狀オイルシエールに依るセメント、吉林に於ける淺野セメントの進出並に遼陽に於る滿洲セメント會社の四計畫で之等の總生產能力は約四十萬噸とされ、周水子に於る年產額廿萬噸を加へて國內に於る年產額總額は實に六十萬噸に達し、漸次增加を辿るセメントの需要にも大體應じ得る譯である

△日本酒　昭和七年度に於ける滿洲國內日本酒の總生產額は一萬九千石で其の內譯は東州六千石、州外一萬三千石であるが右の外日本內地より輸入される一萬六千石を加へ結局國內に於ける總需要額は實に三萬五千石に達して居り、需要は年と共に增加の見込みで新企業は既にハルビン、奉天其の他で行はれてゐるが現行滿洲國の關稅は稍々高率に過ぎ州外、州內生產業者の負擔の均等を圖る爲めには輸入稅の引下げと同時に內國稅の引上げ等も考慮されねばならぬ、いづれにしても國內に於ける釀造事業は日本人の增加に伴ひ活潑且つ自由に行はれて行くものと觀られる

△綿糸、綿布　同じく昭和七年度に於ける滿洲の綿糸綿布製品は手織物のみを除き年一千三百萬圓で、その中日本系の生產品は約六割であるが、綿糸布の輸入は大體五六千萬圓で、その半は日本よりの輸入に依るものであるが、現在日本品の世界的壓迫に依つて來る販路の行き詰りを考慮し、滿洲國內に於ける生產企業は、大體日本品擁護の見地から、當局でも紡績工場は餘り作りたくないとの意向である

△マッチ　最近のマッチ需要額は熱河、滿洲國を併せて年四十萬箱で、これに比し總生產高は既設十七工場より七十八萬箱生產されて居り結局約半數の生產過剩であるが加ふるに從來よりのスエーデンマッチの壓迫により稍々ともすると國產マッチの販路の行詰りは深刻になつて行くので、舊軍權はマッチの專賣に依る生產統制を試みたが、滿洲國建國以來財政部に於ては火柴公賣總局を設けて徵稅機關とし火柴實承辦處を設けて販賣機關としてゐるが現在の制度は極めて不徹底の爲今後充分考究の餘地があるとされ、一方新企業の禁止制度改善等も考慮されて居る

附屬地の地代
愈よ値上げに決定
遂に滿鐵の意見通る

新京附屬地內の滿鐵土地料金の値上げに關しては、その當時土地委員會に於て値上げ反對の答申をしてゐたが、滿鐵本社に於ては、物價指數、家賃下宿料其他萬般に亘る新京市內の經濟狀態を調査し、充分値上げするだけの好況にあることが判つたので、市內の土地料金引上げを行ふことに決定、中央通、日本橋通り、三笠町、吉野町等は一級程度宛引上げたが、土地委員會の答申に對してはこれを尊重して、原案を一部訂正してゐる尙土地委員會に對しては近く參集を乞ひ豫め諒解をうけると

大同林業の反對
結局內部機構改訂か
當局として他に方法なし

大同林業公司設立反對のため滿洲木材商組合聯合會では八日以來運動を續けてゐるが、關東軍特務部及實業部としては、國內產業統制上

『如何』ともすることゝ能はずと輕く一蹴したため、せめて內部の機構組織の一部でも變更されたいと尙猛運動を續けてゐる、業者の反對する理由は大同林業公司設立により同公司の利潤を舉げる結果材木が高くなり、若し販賣價格を上げぬとすれば、同公司の下で事業を行ふ業者の利益は、同公司の利益だけ少くなるわけで民業壓迫なりとして反對してゐるのであるが、產業統制は新興滿洲國の最大方針であり、且つ一度發表した計畫を取消すことは到底出來ず一部機構の改訂位で民間業者の

『希望』を容れることになるのではないかと觀られてゐる

陳情書提出準備

大同林業公司設立反對運動中の材木商組合ではいよいよその實情を具陳した陳情書を作製して、關東軍司令官、滿洲國實業部總長、日本陸、拓、農商、外各大臣宛に提出することとなり目下長文の陳情書作製中である

特急ハトより二時間早い列車
大連新京間九時間半計畫
明年十月一日から實施か

【大連十一日發國通】滿洲國の首都が新京に設定後大連新京間の交通量は急激に增加し更に將來益々增加の趨勢にあるので滿鐵では明年十月の時間表改正に際して世界一とも言ふべき大連新京間七〇二キロを七時間で走破する高速度列車の試運轉を計畫して準備を進めてゐるが、種々研究の結果最近に到り線路橋梁等の關係から右の如き高速度列車の運轉は到底困難なる事判明したので時速八十キロ乃至九十キロのものとし十時間三十分を要する現在の特行ハトを約一時間スピードアップして九時間三十分とし、明年十月一日より實現を期してゐる

德川公爵
飛行機で十三日ハルビンへ

日本赤十字社副社長德川公爵は旣報の通り滯京中であるが隨行の人々は左の通り

日本赤十字本部理事　有吉忠一
赤十字病院醫長　五斗欽吾
同秘書　今野長三郎
同書記　飯田愛之助
滿洲本部主事　野村庄太郎
同書記　石森義助

因に德川公爵は十三日正午發飛行機で哈爾賓に赴くことに豫定變更された

ハルビンの沿岸ペスト豫防

【ハルビン十日發國通】上流扶餘に眞正ペスト發生の報傳へらるや當地航業聯合局では直ちに幹部會を開き協議の結果河筋よりのペスト侵入を極力防止するため八日扶餘に繫船中の汽船二隻に對し卽刻歸航するやう命令を發したこの他嫩江の江楡方面は目下十隻の貨物船が向ひ積出しを行つて居るが本年度の在貨も殆んど無くなつたので本月五日江楡向けの最終航貨物船一隻を以て上流行船出帆は打切ることとし、大賚陶賴昭附近の聯合局汽船は全部ハルビンに引揚げたから江楡向けの貨物船をドン尻にして本年度上流航行は本月二十日前後を以て完全に閉止される譯である

呼海線で
貨物列車轉覆

【奉天十日發國通】第六〇二號貨物列車が昨九日午前八時頃呼海線白奎堡、石人城間四九粁の地點を進行中突然脫線した、貨車二輛、車掌車一輛轉覆した、急報により呼蘭驛より救援列車が現場に急行修理に努めた結果、同日午後四時に到り復舊した、尙係乘務員其他の人には被害はなかつたが脫線原因等は目下取調中である

松山市味酒小學校
又復火炎を起す

【松山十一日發國通】十一日午前一時半松山市味酒小學校中央二階建新校舍から發火、四棟を全燒し講堂丈けを殘して三時過ぎ鎭火した、同校は昨年十月失火全燒しこの程新築工事殆ど竣成し本日は上級生が假校舍から移轉する事になつてゐたもので、損害八萬圓、原因は失火、放火の兩說あり、松山署では放火とにらんで直ちに活動を開始したが問題の放火魔は四國潛入說あり市民は不安に脅えてゐる

故鈴木顧問の五十日祭

過般逝去した關東軍司令部顧問鈴木穆氏の五十日祭は關東軍特務部主催で十一日午後三時から新京神社で擧行される豫定

天氣と氣溫

けふの天氣　南西の風晴一時曇り、十一日の氣溫最高十七度三、最低一度八

范家屯區公示第十三號

昭和八年十月三日施行范家屯區地方委員會委員及豫備委員總選擧ノ結果左ノ諸氏各頭書ノ委員ニ確定シタリ

昭和八年十月八日

南滿洲鐵道株式會社新京地方事務所長　荒木章

記

區別	居所	氏名
地方委員會委員	范家屯驛構內	小松大郎
同	北大通六號地	西村金次郎
同	南大通南七〇號地	池部才次
同	北一〇號地	王襄臣
同	南五號地	程慶臨
同	北二一號地	韓宗源

九月中の滿洲入國者 外交官が激增
蘇聯からの逃亡者も殖え 官憲は取締に當惑

九月中に於ける大連外各倉證辦事處に於て取扱ひたる外國人入國者數男子四一〇名女子三六九名計七七九名、入國者の

＝國別＝ を見るに白系露人三三九名、蘇聯人一一五名、米國人九三名英國人六四名、獨逸人三九名、佛國人二八名ラトビア人一七名、波蘭人一二名瑞西人一一名等が主なるものである、職業別にして見れば商人一六〇名、職業婦人一四二名宣教師九四名、學生三七名、事務員三二名建築技師三〇名、外交官二六名、醫師一八名、教員一三名、傭人一一名等主なるもので外交官の往來が增加せるは注目に價する現象である、要するに九月中入國者は八月の一〇〇四名に較べ稍減退せるも其主因は上海方面より營口經由入國する白系露人其他如何しき外國人の入國者が減少せる爲で滿洲里及綏芬河方面よりの入國者は依然として少きも蘇聯國境よりの逃亡者及び密入國者は益々其數を增す

＝傾向＝ あり關係當局をして其處置取締りに當惑せしめて居る

池田無線電信員等の 壯烈な戰死

滿洲國郵通線錢家店無線電信員（舊興安南警備軍附陸軍騎兵少尉）原籍岡山縣吉備郡富山村大字延原一六〇一番地池上育一氏令弟池上美男（二六才）及興安省南警備軍雇員運轉手李永錫氏（滿洲國人）は同軍雇員運轉手鴨田隆氏外蒙古兵及滿洲人二一名と

＝共に＝ 無線電信機の部分品を携行一台の自動車に搭乘し九月下旬熱河省林西を錢家店に歸還の途中九月二十九日午後四時三十分頃開魯西方約百支里馬河使附近に於て該地を掠奪橫行中の匪首占仲華、北來牛南洋等約四、五百名の匪賊に遭遇襲擊せられたるを以て敢然之と應戰するに決意し極力奮鬪せるも兵力の懸隔甚しく遂に漸次包圍せらる窮境に陷りて而も屈せず池上氏は日本男子の意氣を見せばやと軍刀を振翳して鴨田氏等と共に數名の蒙古兵を指揮し一方に血路を開かんと試みしも戰利あらず池上李兩氏は相續いで身に敵彈を蒙り壯烈なる戰死を遂げ、暮色迫らんとするとき鴨田運轉手外蒙古兵三名は戰疲れて附近の高粱畑中に身を潛め兩氏の悲壯なる最後に無念の淚を注ぎつゝ一方事の急を本隊に通報すべく決心し日沒と共に辛じて匪團の重圍を脫出し疲勞と饑餓とを顧みず約百支里の遠路を徹宵急行翌三十日在開魯當軍分遣隊に報告した、之に基き十月二日開魯當軍分遣隊は遭難地に急進搜索の上遂に右兩氏の遺骸を收容四日開魯にて茶毘に附し十三、四日頃錢家店に於て

＝盛大＝ なる告別式を擧行する筈である、因に池上氏は昭和五年廣島電信第二聯隊無線中隊出身の在鄕軍人であり本年二月滿洲國軍官として渡滿し此の九月更に通信員となりたり、寡默沈勇の人、氏の戰死は衆人の最も惜む所である、李氏は青島出身の滿洲國人にして熱河作戰當時通遼滿洲國兵站に勤務し同兵站閉鎖後興安省南警備軍に轉勤精勵の人であつた

外務省巡査 募集

今回外務省では外國在勤外務省巡査二百名を募集することゝなり、東京、廣島、間島、哈爾賓の四ケ所で採用試驗を行ふが、希望者は十四日迄外務省人事課警務係に到着する樣願書を提出すべしと

いましばらくで 完全な給水
十一月一杯で第四水源地竣成 給水タンクも完成

水、水、水と新京市民の渴望と驚威とをたくましゆうした新京の水問題も第四水源地が十一月一杯には竣成の運びとなりこれと同時に女學校前に新築中であつた新給水塔タンクも十月中に完成給水をなすはずで係當局もホツとしてゐる、最近一日平均五千トンの水を費消してゐる新京市民がこれからどんなに飲んでも需めに應ずると 先づ新給水塔が出來上れば古い水は工業用として新しい水を飲料水に配水されて市民は結構な話しである、なほ上下水道の新增設工事は來る十五日限りで受附けないと 更に最近流末裝置（屋內で風呂場、便所等に水を引くこと）も水道係の許可を受けてなすべきで、水道係では材料の檢査、工事の良否を檢閱して完全な仕事をするが個人でやると不正材料使用不正工事等のため漏水のおそれがあるから各自勝手にせずに水道係に屆出られたいと

本社主催 煖房展迫る
各ストーブの優劣 それぐ販賣店の主張（一）

新興滿洲國を目指してストーブの進出は夥しき數で新京のみでも數十種に及び優劣交々中には不良品が無いとも斷言出來ず需要者に於ては大に研究すべきである零下三十度以上も下る當地では冬營準備たるストーブ類煖房こそ充分吟味せねばならぬ、我社主催第二回煖房具展も詳細なる實驗、販賣業者より直接に說明あるは元より十二分の選擇を得る爲發明品揃の多數種を一堂に集め販賣需要兩者の好目的を達成せしめるに外ならず左に各ストーブの優劣を紹介する事にする

エイコウストーブ 滿洲代理店 泰和洋行

榮光ストーブの信條とする三大要素

第一衞生的なる事

煤煙の防止！

如何なる有煙炭も完全燃燒するセコンドエアーの放射裝置

接觸再燃設備あり、補給裝炭時の上昇瓦斯防止！ホツパーと火室の中間に設備せる逆煙防止裝置あり（特許）

第二煖房の十分なる事

點火後迅速なる放熱！

側板從隔式ラヂエーターに依る對流熱及火熱部の反射熱の外本品獨創のパイプ狀ロストルの循環作用により著しき放熱力あり（特許）

火力調節と適溫の持續！

完全なる組立式と後部ハンドルの運用に依り合理的圓滑なる調節をなす

第三經濟的なる事

燃料經濟の合理化！

燃料の完全なる燃燒は無駄を省きその効率を著しく良効ならしむるものとする故特に均等なる燃燒裝置あり在來の節約四割以上（特許）

本溪湖ストーブ 新京代理店 寶洋行

このストーブは本溪湖煤鐵公司に於て多年苦心發明せられたる最も優良なる唯一の滿洲國產ストーブにして他のストーブの如く高價なる石炭のみ使用する必要なく本溪湖炭撫順炭等優良炭に他の安價なる（例へば粉炭の如き）雜炭を加へ使用し得る最も經濟的ストーブである

このストーブは燃燒力頗る旺盛にして不良炭にても優良炭と同樣に燃燒する事が出來よく地方に適する構造られ放熱力強大で調節取扱簡單で滿洲國產唯一のストーブ故最も

器具の永久使用！

原料の精撰技術の優秀分解裝置のため絕對耐久性を有す然て價格も他品に比し案外低廉なり

センターストーブ 新京代理店 仁和洋行

八年度新型センターストーブ續續出さる

滿洲の氣候風土に適する樣造られたるのが他品に對する絕對的強味で需要家に對しては他の高級品と違つて一般向の廉價に提供得る事柄も誇る所以である、尙御購入下されば後日附屬品破壞したる時は無料にて御取換致す事にして居りストーブの條件たる火力の強大、絕對無煙完全なる燃消、炭質不選、構造堅牢、便利經濟破格なる廉價等々本ストーブの六大特徵として一點の否無く眞に一九三三年式尖端的實用ストーブである近日開催さるべき新京日日新聞主催第二回煖房具展連續出品に當り本品優秀なる事の紹介を喜である

獨特の構造及作用、例年內地及滿洲に於けるストーブ展覽會には勿論需用者各位一般から斷然第一位の好評を得たセンターストーブは常に研究に研究を重ねて日常の取扱上煩瑣なる手數を省き總て簡易なるを基調とし然かも理想的に能力を發揮せしむべき構造即ち燃燒原理の漸層燃燒を容易ならしむべくロストルの中央部は山形にして燃燒胴の兩側壁內方に設けたる多數の凸起と二次空氣器の裝置により低位置に於て完全燃燒し數分にして全く無煙強烈なる放熱を爲し煖房速攝大使中煤煙の漏散等を斷然防絕すべき裝置なれば保健衞生的にも經濟的にも眞に斯界の覇王と云ふも決して誇大でありませぬ

試みに今年度も關東軍及滿洲國政府等より多數御買上を賜り獨りセンターは其の名を斯界に風靡して居ります

兵士ホーム 慰問團から
第七信（十月四日）

今凌源の飛行場の野原に坐つて書いてゐます 新京の憲兵司令官の御着きを御待ちしてゐます 考へるともなしに私の胸に生き返つた事でございますが、

古北口の兵隊さんの御挨拶の中にこんな御言葉がございました

「私共はなすべきことをなす丈けの事で、御伯母さん方の御慰問の御厚意に比べますと私達の仕事は何んでもありません、これは私共の義務を盡すことで當然の責任を遂行してゐるのみです」とあつさり云はれました

又言葉を續けられるのには「熱河の端位で苦痛を感ずる樣では御國の爲めには働けない私達です、兎も角命令一下に全靈を捧げて行く處に私達の全生命があるのです」と實に感慨深い有難い御言葉と より外に申し上げられません

何んと御禮の申し樣も御座いません、これは心強い大和魂の發露でなくて何んでございませう

明五日又自働車に乘せて頂いて朝陽まで歸ります

古北口では南天門の上で駱駝に乘つて紀念撮影を致しました、一同仲々の元氣でございます、まるで女の兵隊さんです只々國の爲め兵隊さんの爲めを思ひますと、不思議な位ちつとも疲れを覺えません

酷寒はせまる
火事に氣をつけませう 昨年の損害五万二千三百余圓 煖房の取付けに注意

水銀柱は漸次低下の一途を辿り又我々に滿洲獨特の寒さ、針で肌をさす樣な酷寒の訪れを告げ、早くも

＝市中＝ では戀しい煖房の設備に餘念なくやがては市內到る處に煙突の林立を見其れと共に又火災も漸次增加し消防隊の手をわずらはす事であらうから一般市民は特に此際取付けに充分の注意を拂ひ、煙突と壁の接點には必ず、一尺四方の不燃物を取付け、煖房器具、煙突の點檢を充分にせねばならない、が又煖房器具の選定が一番必要で本社は其の意味に於て此の大切な秋に當り來る十五日より三日間西本願寺に於て煖房展覽會を開催し絕体安全なる器具の御求めに盡力するが又消防隊、新京署保安係ではこの擧に大贊同をなし種々の防火宣傳ポスター並統計表を會場內に揭示し一般觀覽者の參考に供する筈であるが一方試みに前年に於ける火災原因を見るに、

＝前年＝ の火災件數六十三回、其の損害五萬二千三百四十一圓で、實に驚くべき程の巨額を烏有に歸してゐる、原因は主として煙突の不完全で、これが二十三回、次が火氣の不始末十回、竈不始末五回、溫突不完全、小兒火遊、藥品引火等各四回其他等である、右につき消防隊の阪東主任は語る

本月にいつて早四回の火災を出しておりこの分なれば一番火災の多い十二、一、二月頃が今から思ひやられる、每年同じ樣にこの取付時期春先に特に注意をうながしてゐるが、第一器具煙突の點檢を充分に行ひ煙突は必ず屋上三尺以上として關東廳規定の

＝取付＝ をして戴きたい、それから器具の据付け附近に引火物を置かぬ樣にして火氣に十二分に氣を付けてもらはねばならない

島名氏快方

新京附屬地第三區長島名福十郎氏は今夏來病氣で面會を謝絕し只管靜養中であつたが此程漸く快方に向ひ、昨今は床上に、安座出來るやうになり全快の日も近きにあるらしいが大事を取り面談等は醫師から禁ぜられてゐると

電柱、土壁等に ビラ貼り嚴禁
禁を侵せば處罰

首都新京を誇る街々の電柱又は板、土壁に演藝、賣出しその他の宣傳ビラが最近非常に多く貼布され街の美觀を阻害してゐるが同宣傳ビラ貼布はさきに關東總令で絕對に禁じられ、もし貼布したものは、處罰されることになつてゐるため、當局では嚴重取締ることになつた

新京署第二習 射擊大會

新京署員の第二習射擊大會は十二、三兩日午前八時から新陸軍射擊場で擧行する

日本橋通の砂煙り モウ一寸の辛棒
これも道路を立派にする爲

最近市內の主要道路を補修しその後に細砂を敷いてゐるため黃塵家々として行人を惱ましてゐるが、これはアスファルト裝工後細砂を敷き撒水して十日間ほど放置し、細砂がアスファルトの中に充分沈んでから殘つた細砂を取除けるもので近く日本橋通りも細砂を取り除けるのでその間當分辛棒してもらひたいと

新しくうまれた 藤影幼稚園
祝町の本派本願寺で 成績は大變よい

素晴らしい新京の人口增加で唯一の室町幼稚園が希望者全部を收容し切れず父兄達を惱ましてゐるが祝町の本願寺では光岡慈昭師が就任直ちにこの點に深く考ふるところあり

＝今春＝ 五月藤影幼稚園を開いたところ、忽ち五十餘名の入園者があり、目下竹下、中尾兩保姆の手で極めて良成績をあげてゐるが、何分授業料なども滿鐵と同じ月一圓であり五十餘名から得る授業料のみでは經營極めて困難で光岡氏自身が多大の苦心を嘗つて經營に當つてゐる、西廣場校の幼稚園計畫が一向實現されさうにない今日、藤影幼稚園の將來も一般から多大に期待されるものがあり、本願寺でも

＝來年＝ 度はぜひ園舍も新築し出來るだけ多數を收容したい意嚮で近く大連關東別院の諒解を求め一方滿鐵の補助を得たい希望であるが、同幼稚園は宗教的信仰の芽生えを與へることも小學校に附屬した幼兒園などに見られる弊害もなくそのうへ同寺の境內を開放されることになるので幼兒の遊び場所としては至くあつらへ向けであるところから父兄達から大いに喜ばれてゐる

四平街の 九月末人口

四平街署調査に依る九月末現在の人口戶數の動向をあぐれば左の如くである

戶數 內地人 一二三七戶 朝鮮人 一〇七 滿洲人 一五六五 外國人 二 計 二九一一戶

人口 內地人 男 二三三七人 女 二二四一 朝鮮人 男 四六六 女 四五九 滿洲人 男 八〇九〇 女 [illegible] 外國人 男 三 女 四 計 一六一九九人

沿線地帶

十家堡 戶數 內地人 一三戶 朝鮮人 一 滿洲人 一八 計 三二戶 人口 內地人 男 三三人 女 二二 朝鮮人 男 一 女 一 滿洲人 男 五三 女 三三 計 一四七人

楊木林 內地人 一一戶 滿洲同 二九 計 四〇戶 內地人 男 二一人 女 八 滿洲人 男 一〇八 女 四九 計 一八六人

蛇牛哨 內地人 一五戶 滿洲同 一九 計 二四戶 內地人 男 三六人 女 三六 滿洲人 男 六三 女 二九 計 一四三人

桓勾子 內地人 一二戶 朝鮮人 二 滿洲人 二六 計 四〇戶 內地人 男 三一人 女 二六 朝鮮人 男 二 女 四 滿洲人 男 九一 女 七一 計 二二九人

双廟子 內地人 三九戶 朝鮮同 一 滿洲同 四〇六 計 四四六戶 內地人 男 八七人 女 六二 朝鮮人 男 一 女 一 滿洲 男 一〇四四 女 八六九 計 二〇五七人

泉頭 內地人 一六戶 朝鮮同 一 滿洲人 六四 同滿洲人 計 八一戶 內地人 男 三一人 女 三三 朝鮮人 男 二 女 二 滿洲人 男 二〇二 女 九四 計 三六六人

八面城 內地人 一六戶 朝鮮同 二 計 一八戶 內地人 男 三六人 女 三二 朝鮮人 男 五 女 五 計 四九人

合計 六九一戶 合計 三三二七人

尙四平街附屬地及沿線地の總合計は 戶數 三六〇二戶 人口 九三二六人

前月末現在九七二五一人に比し二五人の減少を示せるは鮮人避難民の異動の爲で內地人々口は激增しつゝあると

月三圓の食代で
孜々營々たる天照園農場園員 而かも喜々と働く

（四平街支局發）農業移民として其の進出に對して各方面から多大の期待をかけられて居る天照園農場は東蒙古の一角鄭家屯通遼間の中間錢家店驛近くにあつて今春來孜々として耕作に從ひ今や豫想以上の本年度の實りと諸般の成績とは努力腐心に酬ゆるに充分なるものがあり、主任畑野喜一郎氏外四十余名の園員喜々として營々收穫に餘念がない此の天晴れの園員は一致協力克く困苦缺乏に堪へ自給自足如實に勤儉力行い一ケ月金三圓の食餌に滿足しる他方面移住民に向つて範たるの資格あるは吾等の心強さを痛感するものがある、今左に同園員の一日の食餌獻立をあげ、大方の參考に資したいと思ふ

朝食 包米ピンヅ グアーザ 漬物
晝食 同上 同上 同上
夕食 同上 同上 同上 味噌汁

調理方法

一、包米ピンヅは釜底に少量の湯を沸騰せしめ包米（トウモロコシ）の細粉に一割の大豆粉を交へたる冷水にて練り適當の大さに固めたるを其の釜に附着せしめ約一時間裡乾燥（燃料を焚きて蒸燒にせるもの）せしむ一人一回の包米粉量約五十匁なり

二、グアーザは包米の粗粉を沸騰せる湯の中に入れこれに食用曹達少量を加へ約十分間攪亂し糊狀となりたるを約三十分間蒸して食す一人一回の包米量約二十分

三、味噌汁は內地味噌を用ひ身は韮大根野菜等を用ひ一人一回の味噌は約二十匁なり

四、漬物は主として茄子及瓜の鹽漬及澤庵を用ふ

尙ほ右園員は每月十二日は滿洲上陸記念日とし同日に限り特に夕食時一人當白米三合豚肉五十匁を食卓に上すと

近ごろ 男の生れる率が高い

新京市內に於ける最近の出產狀況を見ると十一日の男子四名女子二名の如く一体に男子の出生多く、地方事務所では、これはどうしたことだらうかと語つてゐるが、從來日清、日露、兩役後男兒の出生多く今年のこの現象も、滿洲事變後に於ける男子の疲勢が原因してゐるのでないかと謂はれてゐる

間島の暴動計畫 龍井村領警 未然に防ぐ

（間島十日發國通）中國共產黨が尖銳分子を派遣し暴動計畫中であるを探知せる龍井村總領事館警察署は逮捕に向つたが、頑強な抵抗を受けたので猛射を浴せ八名を射殺し不穩文書を押收した

新京警察署 喜古巡査死去

關東廳巡査新京署勤務喜古五郎氏は七日結核腦脊髓膜炎で新京病院に入院加療中の處藥石効なく十日午後七時四十分死亡した、十一日午後四時三十分から祝町西本願寺で告別式を執行した、式場には福島縣人會、時局後援會長荒木章氏、新京署長高川勝司氏其の他多數の花輪が供され多數署員の參列があつた、なほ氏は明治四十三年生れの前途有爲の警官で氏の逝去は惜まれてゐる、昨年十二月旅順から新京に轉任北六條派出所詰員として勤務中であつた

曙町四丁目に お湯屋が出來る
設備も新京第一

新京市內には從來錢湯が二軒しかなく市民は非常に不便を感じ錢湯の增加を望んでゐたが今日曙町四丁目永野逸義氏は同番地に曙湯を作り、目下工事を急いでゐるので近く竣工の運びとなる、十一日新京署保安係では下檢査を行つたが設備は非常によく新京一を誇つてゐる、これで日本橋郵便局附近、曙町、永樂町、梅ケ枝町、入舟町附近居住者は大喜びで錢湯の開始を待ちあぐんでゐる

ラヂオ

十二日（木曜日）新京

午後五、〇〇子供の時間（奉天より）
同 五、三〇ニュース（英語）
同 五、四〇ニュース（露語）
同 五、五〇ニュース（鮮語）
同 六、〇〇ニュース（東京より）
同 六、二〇語學講座（滿洲語）講師 高宮盛逸
同 六、四〇同（日本語）同 植松金枝
同 七、〇〇演藝（滿洲語）西施 天順班艶秋
同 七、三〇時事解說（滿洲語）
同 八、〇〇ニュース（滿洲語）
同 八、三〇時報（東京より）
同 八、三一ニュース（同）
同 八、四五ニュース氣象豫報、明日のプログラム發表
同 九、〇〇演藝 新京曇春座より中繼 國慶第一週年記念溫習會

長唄 唄笑香、三味線松吉 越後獅子 同君香、同峰香、同清香、同秀吉、同梅香、同ぼたん、同音丸、上調子 百々香

常磐津 淨瑠璃色子、三味線千太郎、お夏清十郎 同小韻、同メ治、同豐作、同千惠丸、同若治、同小六

常磐津 岸漣奇常磐松島 淨瑠璃忠治 三味線正房、同政千代、同眞代美、同小さん、同力彌、同美喜松、同太郎、同三次、同一勇、同千太

△但し出演時間の都合に依り一部變更あるやも知れず

黑船往來

新興映上映及上演

第百六十回

寺島柾史 作
布施長春 畫

片身（六）

夕暮の異人館前庭を靜かに味はふやうにあるいてゐたカチウド老人には、二人の日本の友の會話がきくともなしにきかされた。それは、切れぎれな會話の斷片だが、どうやら自分にとつて、不利不幸をはらむものであるやうにおもはれ、日沒のやうなはかなさを感じた。

——あゝ、あゝ、わしの時代がいつのまにか過ぎてゐるのだ。わしの祖國は、わしの肉身は、わしの知己は、みんなわしを忘れてしまつた。時が、わしを過去の彼方へ忘れしめたのぢや……。

まういふ述懷が、おのづと胸のうちに湧いてきた。もうそれは、あの甘美な感傷でも、辛い自己嫌惡の情でもなく、淡々として水のやうな感懷だつた。

——この、異人館の役人どもに見すてられたことを、うらんではいけないのだ。館の若い士官は、わしよりずつと後の時代の人だ。これこそは世紀の障へきだ。誰を恨むことができよう。わが友よ。白軒どの、武七郎どの、わしのために心配しずにくだされ。わしは生きた屍に過ぎないのだ。時は、もう越えることのできない障へきをつくつてしまつたのぢや……。

口には出さぬが、カチウド老人は、まだ扉の前にたゝずむでゐる二人の日本の友を眺めやりながら案外ほがらかな明るい微笑を送つた。

すると、その微笑をうけて、白軒はこちらへあゆみ寄つた。

『……』

何か、口重たく切出さうとするのを、カチウドは手をもつて制した。

『いや、わかつてをる。何もかにも宿縁だ。わしは、あきらめてをる』

『實は、思はぬ人物が、この館にをつたため、その奴が邪魔して士官殿に面會ならず、申譯がござらぬ』

『いやいや、それもこれも、みんな時がつくる惡戯さ。わしは、もう本國の士官に逢はうとも思はぬよ』

彼は、どこからか漂うてる、草乳香をかいだ。いや、それはありし日の幻想がつくる、はかない感覺であつたかもしれない。

『でも、この館の士官に逢ふことがゆるされると、それで歸國の道がひらかれます』

『ところが、わしはな、歸國を望まぬのぢや』

『え』

『いまさら、老いぼれて歸國することは恥さらしだ。それよりかふ……』

『何でござる……？』

『まア、よい。こゝにいつまでもゐることは叶ふまい。打連れてユベツの宿へ歸るといたさうか…』

カチウド老人は、前庭をはなれた。

『カチウドどの』

白軒は、追ひすがるやうにしていつた。

『なんぢや』

『館の士官に面會できぬ故、これより拙者函館會所へ名乘つて出でようとおもひまするが……』

『ほう……だが、それはいけぬ。お主が會所へ名乘つて出ることは飛んで火に入る夏の虫ぢや。兇状持のお主は、やはり日蔭者さ……いや、そんなあぶないことをしてくれても、本人のわしは、もう本國へ還りたうはないのぢや。止して貰はう……』

『……』

白軒は、それ以上カチウド老人にすゝめることができなかつた。もちろん、あとにつゞく武七郎とても同じおもひである。